

平成 27 年度 環境監視結果年報

平成 28 年 8 月

中部国際空港株式会社

はじめに

中部国際空港株式会社は、平成 25 年 4 月、「航空機騒音にかかる環境基準の一部改正」の施行に伴い、「中部国際空港に係る環境監視計画」を改定し、平成 25 年度よりこれに基づく環境監視を実施している。

本書は、この環境監視計画に定める調査項目である航空機騒音について、平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の調査結果を「①環境基準値との比較」、「②開港後の推移」の 2 つの観点から、それぞれ整理することにより、中部国際空港の供用が周辺地域に与える環境影響の程度を把握し、年報としてとりまとめたものである。

とりまとめにあたっては、中部国際空港株式会社が設置する公正・中立の立場の「中部国際空港の航空機騒音に関する検討委員会」において、科学的、客観的な検討・評価を受けた。

目 次

1. 気象の状況	1
2. 空港の運用状況	3
3. 環境監視結果及び評価	
航空機騒音	8
(1) 航空機騒音の評価指標	8
(2) 環境監視結果	10
ア 常時監視結果	12
イ 定期監視結果	19
(3) 航空機騒音の項目別比較検討	23
ア 環境基準値との比較	23
(ア) 常時監視結果	23
(イ) 定期監視結果	23
イ 開港後の推移	28
(ア) 常時監視結果	28
(イ) 定期監視結果	30
(4) 航空機騒音の評価	33

参考資料

1. 気象の状況

(1) 気象観測

気象庁による名古屋地方気象台、中部航空地方気象台、アメダス南知多観測所の気象観測結果は表 1-1のとおりであり、中部航空地方気象台における風向出現頻度は図 1-1のとおりである。

平成 27 年度の中部航空地方気象台における最多風向は北西であり、全体の 19.7%を占めた。

また、台風は、7月に第 11号、9月に第 15号、第 18号がセントレアの運航に影響した。雪、あられ、みぞれ等の降雪は延べ 3日あり、うち 1月 25日は積雪となった。

表 1-1 名古屋、セントレア、南知多における気象観測結果

気象要素	地点	平成27年										平成28年			年間
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
平均風速 (m/s)	名古屋	2.9 (3.3)	3.2 (3.0)	2.9 (2.7)	2.9 (2.7)	2.8 (2.9)	2.8 (2.7)	3.0 (2.6)	2.3 (2.6)	3.0 (2.8)	2.9 (3.1)	3.3 (3.4)	3.5 (3.5)	3.0 (2.9)	
	セントレア	4.1	4.8	4.9	4.3	4.4	5.1	5.6	5.0	6.6	6.7	6.4	6.2	5.3	
	南知多	2.7 (2.4)	2.9 (2.1)	2.9 (1.7)	2.6 (1.6)	2.6 (1.8)	2.9 (1.8)	2.9 (1.9)	2.6 (2.1)	3.3 (2.5)	3.4 (2.7)	3.7 (2.8)	3.7 (2.8)	3.0 (2.2)	
最多風向 (16方位)	名古屋	NNW (NNW)	NW (NNW)	SSE (SSE)	SSE (SSE)	SSE (SSE)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NNW (NNW)	NW (NNW)	NNW (NNW)	
	セントレア	NW	NW	SE	SSE	SE	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	
	南知多	NW (NW)	NW (NW)	ESE (ESE)	S (ESE)	S (ESE)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	NW (NW)	

注1:名古屋は名古屋地方気象台、セントレアは中部航空地方気象台、南知多はアメダス南知多観測所を示す。

注2:平均風速の名古屋、南知多の欄の下段()内の数値は、昭和56年(1981年)～平成22年(2010年)の30年平均値(平年値)である。

注3:最多風向の名古屋の欄の下段()内の数値は、平成2年(1990年)～平成22年(2010年)の21年平均値(準平年値)である。

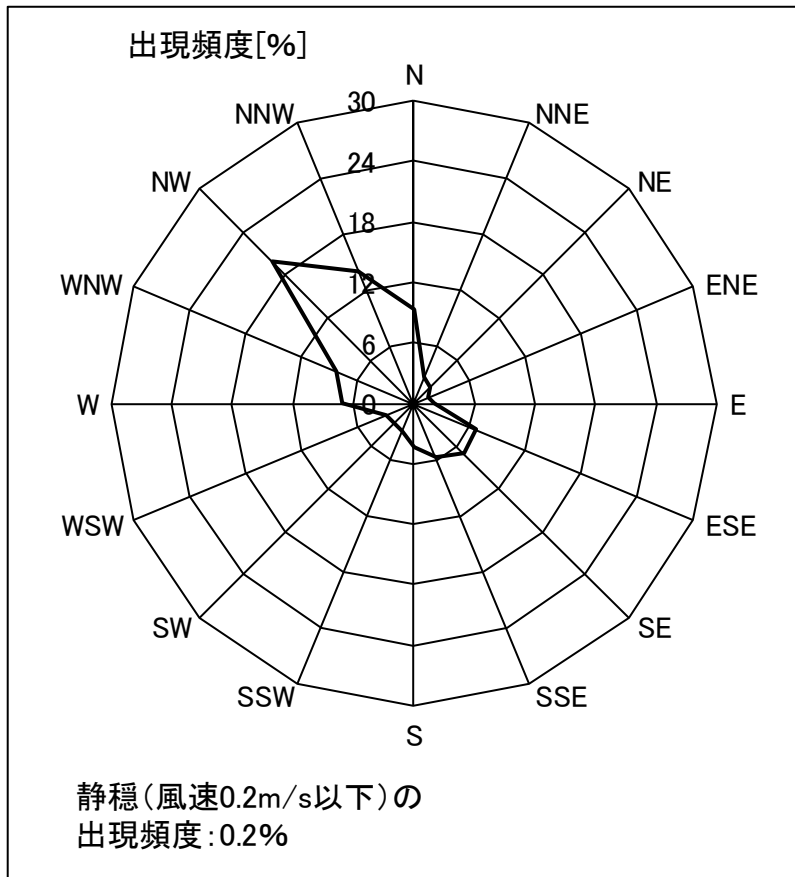
注4:最多風向の南知多の欄の下段()内の数値は、昭和56年(1981年)～平成22年(2010年)の30年平均値(平年値)である。(南知多観測所:平成12年11月に移設)

注5:年間の欄の数値は、年間の平均風速及び年間の最多風向である。

出典1. 気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

2. 「セントレアの気象」(発行:中部航空地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/chubu-airport/>)

図 1-1 中部航空地方気象台における風向出現頻度（風配図）



調査期間：平成27年4月1日～
平成28年3月31日

方位	出現頻度 (%)
N	9.3
NNE	2.8
NE	2.2
ENE	1.6
E	2.1
ESE	6.6
SE	7.0
SSE	5.7
S	4.3
SSW	3.0
SW	2.7
WSW	3.0
W	7.1
WNW	8.4
NW	19.7
NNW	14.1
CALM	0.2

出典. 中部航空地方気象台刊行のセントレアの気象（月報）から集計、作成。

2. 中部国際空港の運用状況

平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月の中部国際空港の運用実績一覧については、表 2-1 のとおりである。

中部国際空港における航空年間旅客数、航空年間貨物取扱量、航空機の年間発着回数の開港からの年度別推移は図 2-1、図 2-2、図 2-3 のとおりである。

また、航空機発着の月別運用比率は図 2-4 およびその年度別推移は図 2-5、航空機の最大離陸重量別年度別推移は図 2-6、最大離陸重量別の主な航空機材リストは表 2-2 のとおりである。

航空旅客数は国際線で外国人旅客が大幅に増加し、航空貨物取扱量は国際貨物、国内貨物とも減少したが、国際線便数、国内線便数の増加の増加に伴い、航空機の発着回数も対前年度比で増加した。

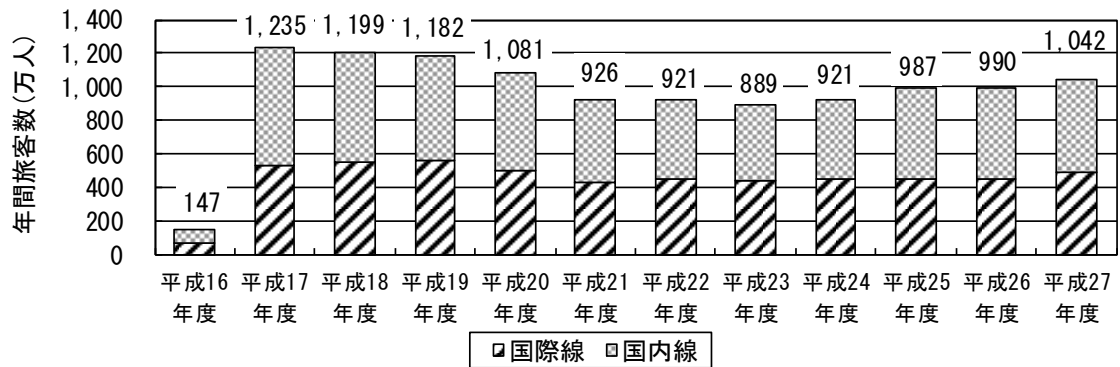
表 2-1 中部国際空港の運用実績一覧

中部国際空港実績一覧 [2015年度]

中部国際空港株式会社

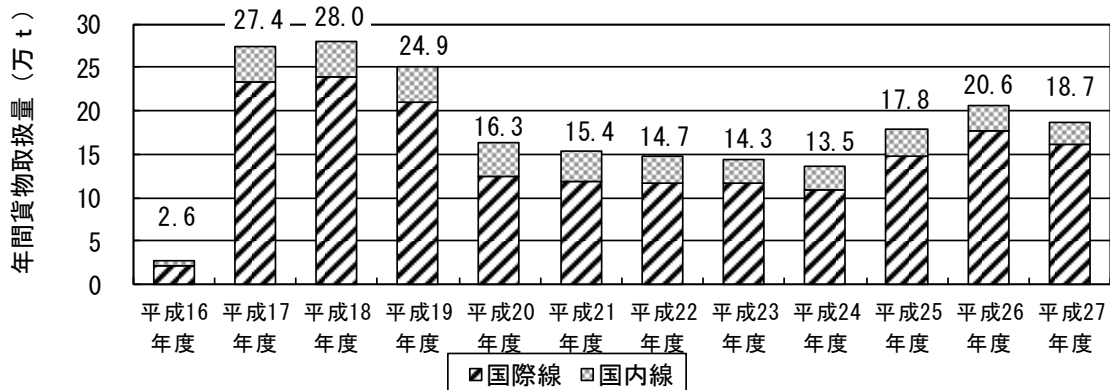
区 分	単 位	確定値												下期計	年度計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月			3月
1. 航空旅客数	人	799,011 (101)	854,380 (102)	776,339 (100)	860,818 (103)	1,014,102 (106)	888,745 (102)	5,193,395 (102)	918,654 (107)	857,993 (104)	815,462 (109)	830,745 (114)	852,558 (112)	955,856 (105)	5,231,268 (108)	10,424,663 (105)
国際線	"	393,499 (99)	389,690 (102)	350,905 (99)	383,926 (106)	456,502 (105)	385,542 (107)	2,360,064 (103)	414,131 (110)	398,814 (111)	398,045 (114)	425,431 (126)	431,822 (109)	471,723 (109)	2,539,966 (115)	4,900,030 (109)
日本人旅客	"	202,145 (92)	211,501 (99)	201,136 (90)	208,190 (89)	270,971 (90)	237,485 (92)	1,331,428 (92)	230,004 (97)	231,223 (98)	227,492 (100)	225,565 (104)	220,507 (104)	273,279 (100)	1,408,070 (107)	2,739,498 (96)
外国人旅客	"	190,182 (129)	172,661 (130)	148,133 (147)	174,100 (166)	182,595 (148)	146,275 (146)	1,013,946 (148)	181,441 (148)	167,059 (137)	168,775 (141)	197,446 (168)	207,099 (142)	197,704 (131)	1,119,524 (144)	2,133,470 (145)
通過客	"	1,172 (4)	5,528 (18)	1,636 (6)	1,636 (7)	2,936 (13)	1,782 (9)	14,690 (9)	2,686 (16)	532 (98)	1,778 (135)	2,420 (179)	4,216 (227)	740 (26)	12,372 (51)	27,062 (15)
国内線	"	405,512 (102)	464,690 (103)	425,434 (100)	476,892 (100)	557,600 (101)	503,203 (105)	2,833,331 (102)	504,523 (106)	459,179 (98)	417,417 (105)	405,314 (103)	420,736 (105)	484,133 (101)	2,691,302 (103)	5,524,633 (102)
2. 航空機発着回数	回	7,588 (99)	7,869 (98)	7,646 (102)	8,023 (102)	8,458 (105)	8,078 (105)	47,662 (102)	8,394 (112)	8,117 (108)	8,417 (111)	8,457 (108)	8,046 (113)	8,662 (110)	50,093 (110)	97,755 (106)
国際線	"	2,878 (99)	2,969 (100)	2,882 (105)	3,011 (106)	3,137 (109)	3,097 (111)	17,974 (105)	3,321 (118)	3,155 (117)	3,263 (118)	3,334 (115)	3,253 (118)	3,432 (114)	19,758 (116)	37,732 (111)
旅客便	"	2,549 (98)	2,660 (100)	2,561 (104)	2,696 (107)	2,837 (109)	2,767 (112)	16,070 (105)	2,983 (119)	2,864 (119)	2,942 (119)	3,036 (117)	2,944 (124)	3,084 (117)	17,853 (119)	33,923 (112)
貨物便	"	284 (101)	259 (94)	273 (105)	276 (96)	260 (102)	275 (100)	1,627 (100)	288 (102)	256 (96)	274 (104)	263 (99)	240 (78)	300 (90)	1,621 (94)	3,248 (97)
その他	"	45 (118)	50 (111)	48 (192)	39 (156)	40 (103)	55 (145)	277 (132)	50 (122)	35 (88)	47 (134)	35 (106)	69 (87)	48 (83)	284 (99)	561 (113)
国内線	"	4,710 (99)	4,900 (97)	4,764 (100)	5,012 (103)	5,321 (102)	4,981 (105)	29,688 (100)	5,073 (108)	4,962 (103)	5,154 (107)	5,123 (104)	4,793 (111)	5,230 (107)	30,335 (103)	60,023 (103)
旅客便	"	4,543 (101)	4,749 (101)	4,611 (100)	4,833 (100)	5,165 (103)	4,818 (101)	28,719 (101)	4,901 (109)	4,755 (102)	4,968 (107)	4,952 (105)	4,598 (109)	4,963 (105)	29,137 (106)	57,856 (104)
貨物便	"	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
その他	"	167 (64)	151 (49)	153 (93)	179 (89)	156 (103)	163 (106)	969 (78)	172 (87)	207 (135)	186 (103)	171 (78)	195 (148)	267 (156)	1,198 (114)	2,167 (94)
3. 国際貨物取扱量	t	14,058 (101)	12,797 (94)	13,472 (99)	13,424 (93)	12,808 (94)	14,830 (99)	81,389 (96)	14,873 (97)	13,310 (96)	13,111 (105)	12,136 (111)	11,652 (61)	14,681 (81)	79,763 (87)	161,152 (91)
積込	"	7,381 (107)	6,664 (98)	7,300 (109)	6,933 (95)	6,732 (96)	7,360 (97)	42,370 (100)	7,595 (93)	6,663 (96)	6,665 (102)	6,339 (96)	6,176 (84)	7,982 (96)	41,430 (81)	83,800 (89)
取卸	"	6,677 (95)	6,133 (90)	6,172 (90)	6,491 (91)	6,076 (92)	7,470 (99)	39,019 (93)	7,278 (100)	6,647 (95)	6,446 (109)	5,799 (83)	5,476 (84)	6,689 (87)	38,333 (95)	77,352 (94)
4. 国内貨物取扱量	"	2,299 (96)	1,975 (85)	2,020 (89)	2,364 (87)	2,209 (86)	2,293 (92)	13,160 (89)	2,305 (86)	2,057 (82)	2,552 (86)	1,752 (85)	1,823 (88)	2,087 (86)	12,578 (86)	25,738 (87)
発送	"	1,285 (98)	1,047 (83)	1,116 (95)	1,150 (84)	1,130 (81)	1,099 (87)	6,827 (88)	1,190 (82)	1,279 (89)	1,504 (91)	990 (90)	1,033 (91)	1,199 (90)	7,195 (89)	14,022 (88)
到着	"	1,014 (94)	928 (87)	904 (82)	1,214 (90)	1,079 (91)	1,194 (97)	6,333 (90)	1,115 (90)	778 (73)	1,049 (81)	762 (82)	791 (83)	888 (81)	5,383 (82)	11,716 (86)
5. 給油量	kl	42,841 (84)	43,338 (82)	43,046 (87)	44,633 (89)	47,149 (92)	44,706 (93)	265,713 (88)	47,567 (100)	43,954 (104)	46,734 (105)	46,688 (107)	44,175 (97)	47,604 (99)	276,721 (102)	542,434 (94)
6. 構内営業売上高	百万円	2,555 (131)	2,552 (134)	2,364 (136)	2,674 (142)	3,078 (133)	2,401 (127)	15,624 (134)	2,653 (127)	2,582 (116)	2,608 (111)	2,559 (120)	2,646 (110)	2,575 (102)	15,623 (114)	31,247 (123)
免税店	"	1,528 (153)	1,433 (159)	1,362 (166)	1,541 (180)	1,717 (168)	1,329 (148)	8,910 (162)	1,544 (147)	1,446 (132)	1,483 (123)	1,535 (137)	1,666 (118)	1,479 (109)	9,153 (126)	18,063 (142)
一般物販店	"	683 (113)	730 (116)	662 (115)	739 (116)	882 (110)	682 (112)	4,379 (113)	731 (111)	764 (104)	758 (99)	657 (99)	626 (100)	697 (94)	4,213 (101)	8,592 (107)
飲食店	"	344 (99)	389 (105)	340 (98)	394 (101)	479 (99)	390 (103)	2,335 (101)	378 (102)	372 (96)	387 (97)	368 (103)	355 (97)	398 (94)	2,257 (97)	4,593 (99)
7. 来場者数	千人	881 (101)	923 (104)	849 (102)	945 (102)	1,119 (105)	935 (103)	5,651 (103)	963 (102)	924 (97)	945 (101)	896 (107)	897 (105)	1,013 (100)	5,638 (102)	11,289 (102)
8. 駐車場利用台数	千台	109 (97)	118 (104)	100 (94)	119 (96)	161 (97)	120 (101)	727 (98)	115 (100)	111 (93)	121 (92)	106 (97)	102 (93)	121 (91)	677 (94)	1,404 (96)

注1 ()内数値は対前年同月比。
 注2 国際貨物取扱量は名古屋税関中部空港税関支署発表のもの。
 注3 累計差は端数処理の誤差。
 注4 一般物販店および飲食店は取扱表記。



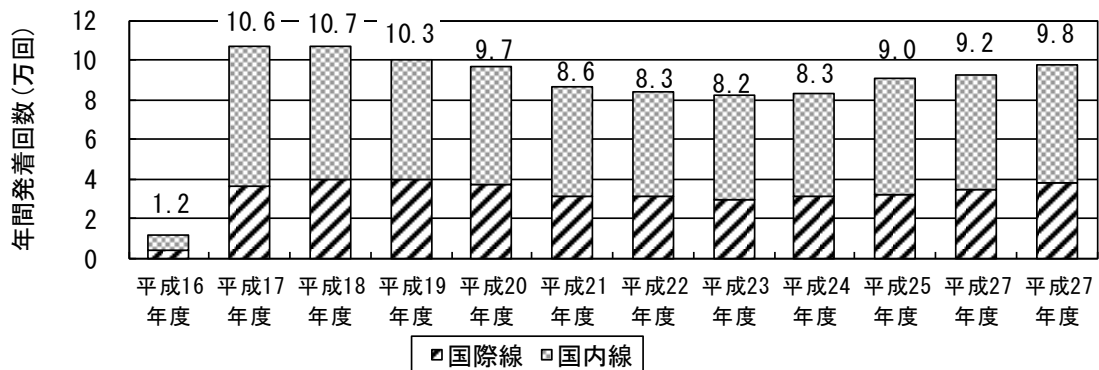
注1：平成16年度の空港運用日数は、43日間（平成17年2月17日～3月31日）である。
 注2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-1 航空年間旅客数の推移



注1：平成16年度の空港運用日数は、43日間（平成17年2月17日～3月31日）である。
 注2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-2 航空年間貨物取扱量の推移



注1：平成16年度の空港運用日数は、43日間（平成17年2月17日～3月31日）である。
 注2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-3 航空機の年間発着回数の推移

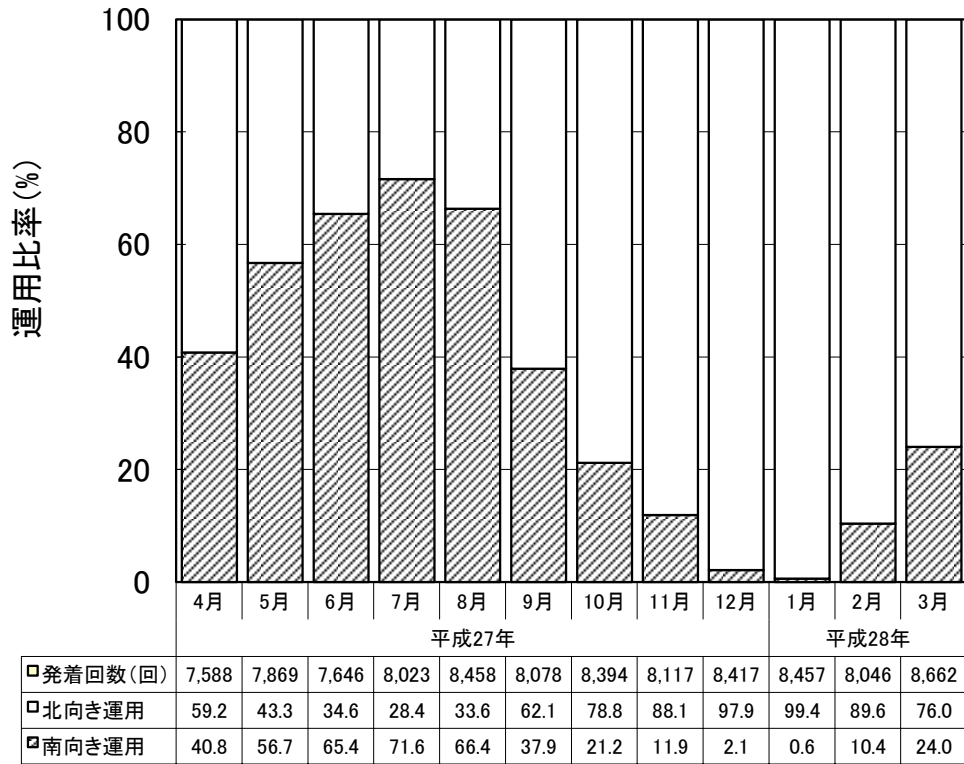
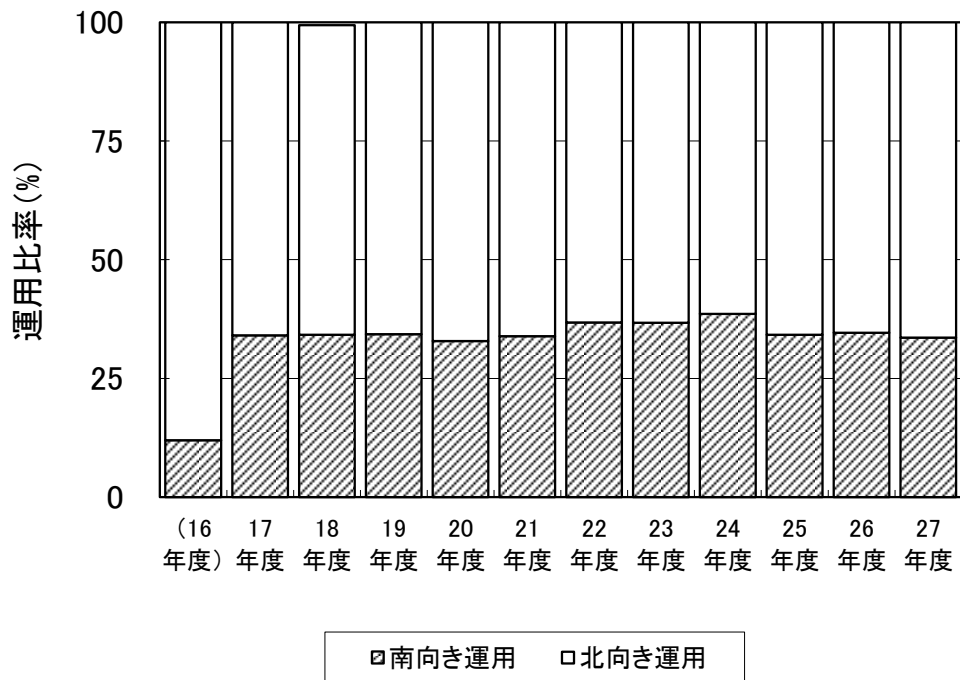


図 2-4 航空機発着の月別運用比率



注：平成16年度は2月17日～3月31日の運用比率であり、参考として示した。

図 2-5 航空機発着の運用比率の年度別推移

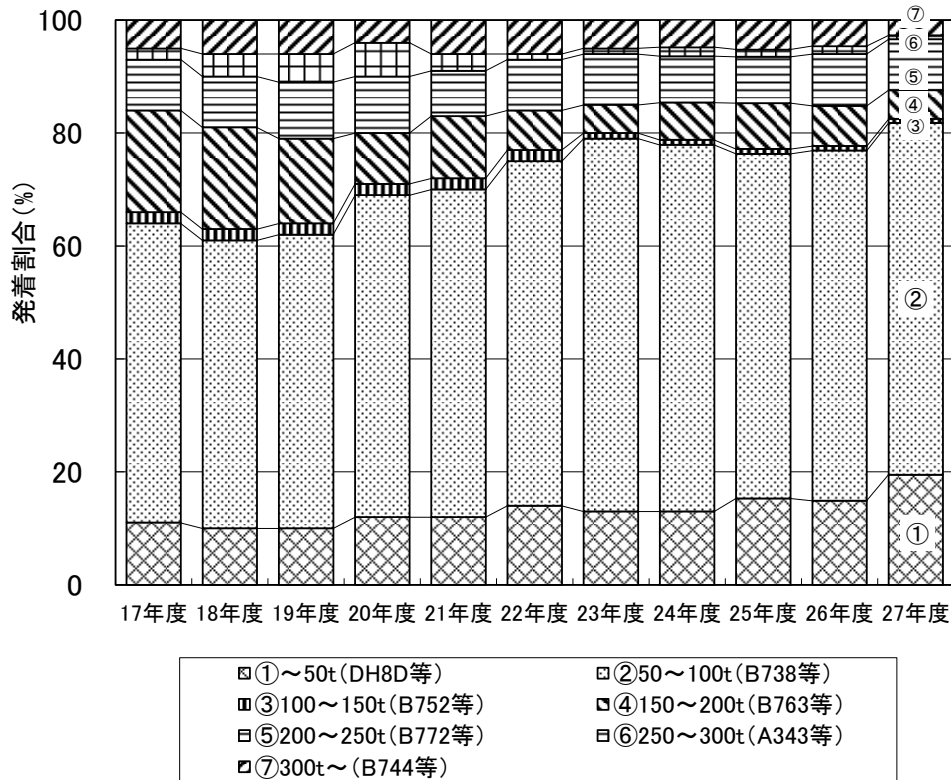


図 2-6 航空機の最大離陸重量別年度別推移

表 2-2 最大離陸重量別の主な航空機材リスト

最大離陸重量	機 材
⑦. 300t~	ボーイング747-200
	ボーイング747-400
	ボーイング747-8
	ボーイング747-LCF
	ボーイング777-300/300ER
	アントノフ
⑥. 250~300t	エアバスA340-300
	ボーイング747-400D
⑤. 200~250t	エアバスA330-200
	エアバスA330-300
	ボーイング777-200/200ER
	ボーイング787-800
④. 150~200t	エアバスA300-600/600R
	ボーイング767-300/300ER
③. 100~150t	ボーイング757-200
②. 50~100t	エアバスA319-100
	エアバスA320-200
	エアバスA321-200
	ボーイング737-400
	ボーイング737-500
	ボーイング737-700
	ボーイング737-800
	ボーイング737-900
①. ~50t	ボンバルディアDHC-8
	ボンバルディアCRJ
	サープ2000
	セスナ525C
	アグスタ ウェストランド139
	ベル412

3. 環境監視結果及び評価

航空機騒音

(1) 航空機騒音の評価指標

環境省の航空機騒音測定・評価マニュアル（以下「マニュアル」という。）に基づき、平成 25 年度から Lden（時間帯補正等価騒音レベル）（※ 1）により評価を行った。ただし、開港時からの推移を考慮し、平成 24 年度までの旧評価指標である WECPNL（※ 2）を参考として示す。

なお、航空機騒音の評価指標が WECPNL から Lden に変更されたことに対応するために、平成 23 年度に Lden 及び WECPNL を算出できる航空機騒音監視システムに改修し、平成 24 年度から運用を開始している。

※ 1 Lden（時間帯補正等価騒音レベル）

1 日の間に観測された航空機騒音の単発騒音暴露レベル（ L_{AE} ）を時間帯別に補正（午後 7 時から午後 10 時まではプラス 5 デシベル、午後 10 時から翌日午前 7 時まではプラス 10 デシベル）した後にエネルギー加算し、観測時間（1 日 = 86,400 秒）で平均してレベル表示した値。単位はデシベル [dB]。

一般の騒音の大きさを表す騒音レベルとは異なる。

算式 1

$$L_{den} = 10 \log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left(\sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej}+5}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk}+10}{10}} \right) \right\}$$

(注) $L_{AE,di}$: 午前 7 時から午後 7 時までの時間帯における i 番目の L_{AE}

$L_{AE,ej}$: 午後 7 時から午後 10 時の時間帯における j 番目の L_{AE}

$L_{AE,nk}$: 午後 10 時から午前 7 時の時間帯における k 番目の L_{AE}

T_0 : 規準化時間（1 秒）

T : 観測 1 日の時間（86,400 秒 = 60 秒 × 60 分 × 24 時間）

関係する用語

ピークレベル: 航空機の騒音が発生するごとに観測される最大騒音レベルのこと。単位はデシベル [dB]。

L_{AE} : 航空機 1 機が発生する騒音のエネルギー量。単位はデシベル [dB]。単発騒音暴露レベルと言う。

L_{Aeq} : 時間帯ごとで算出している平均等価騒音レベル。単位はデシベル [dB]。

※2 WECPNL

WECPNL とは、加重等価平均感覚騒音レベル (Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level) のことで、昭和 48 年から平成 24 年度まで航空機騒音の評価指標として採用された。

19 時から 22 時までに発生した騒音の評価には、1 機騒音を発生したら 3 機分の重みを、22 時から翌日 7 時までに発生した騒音の評価には、10 機分の重みを付けている。単位はない。

算式 2

$$\text{WECPNL} = \overline{\text{dB(A)}} + 10 \log_{10} N - 27$$

$$N = N_2 + 3N_3 + 10(N_1 + N_4)$$

(注) $\overline{\text{dB(A)}}$: 航空機騒音が暗騒音より 10dB 以上大きい騒音のピークレベルを 1 日のすべてについてパワー平均したもの。

N_1 : 0 時～7 時までに測定された機数

N_2 : 7 時～19 時までに測定された機数

N_3 : 19 時～22 時までに測定された機数

N_4 : 22 時～24 時までに測定された機数

(「測定された機数」とは、暗騒音より 10dB 以上高い騒音を測定した機数を指す。)

(2) 環境監視結果

航空機騒音の調査期間及び調査地点は表 3-1のとおりである。

常時監視は、開港時から常滑市、美浜町、弥富市、木曾岬町の 4 市町において行っている。常滑市は鬼崎中学校、美浜町は、野間（ちびっこ広場）、弥富市は、大藤小学校にて平成 17 年から、木曾岬町は東部公民館にて平成 19 年から行っている。

また、本年度の定期監視は平成 27 年 6 月 23 日～29 日（1 回目）、平成 28 年 2 月 2 日～8 日（2 回目）に 10 地点で行った。

航空機騒音の調査地点の位置は、図 3-1 のとおりである。

表 3-1 調査期間及び調査地点

項目		調査期間	調査地点
常時監視		平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日	4 地点
定期監視 (注 1)	1 回目	平成 27 年 6 月 23 日～平成 26 年 6 月 29 日	10 地点
	2 回目	平成 28 年 2 月 02 日～平成 28 年 2 月 08 日	10 地点

常時監視地点(注 2)	
①	常滑市立鬼崎中学校
②	美浜町野間(ちびっこ広場)
③	弥富市立大藤小学校
④	木曾岬町東部公民館

定期監視地点(注 2)	
T1	常滑市立常滑西小学校
T2	南知多町町民会館体育館
A1	愛西市役所
A2	弥富市立十四山西部小学校
A3	弥富市鍋田公民館
M1	桑名市大山田地区市民センター
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設
M3	四日市市海蔵地区市民センター
M4	伊勢市神社みなとまち館
M5	鳥羽市立鳥羽東中学校

注 1： 定期監視は各調査地点について 7 日間連続で測定を実施した。

注 2： ①～④及び T1～M5 は次ページの図 3-1 の地点番号に対応する。

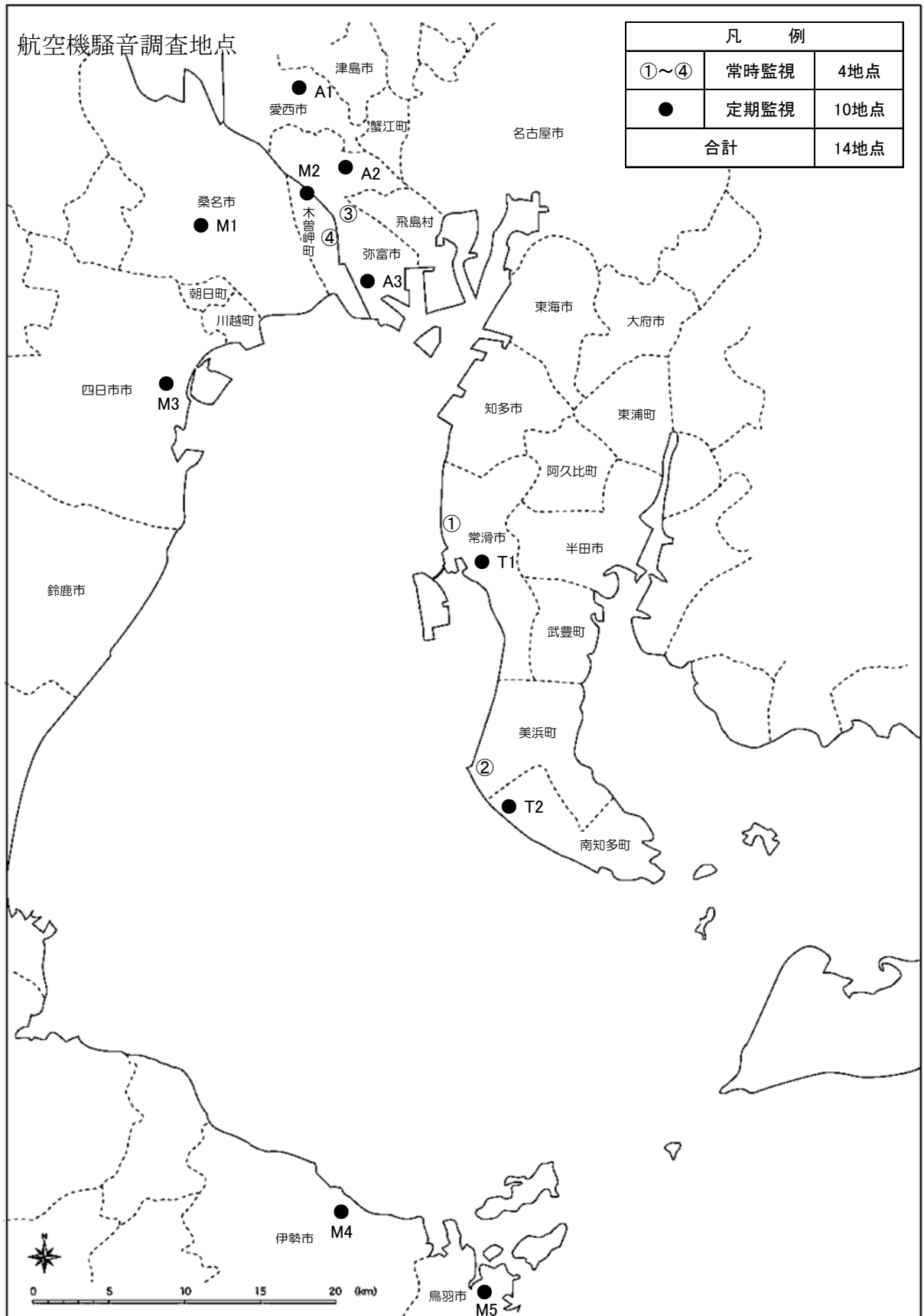


図 3-1 航空機騒音の調査地点（常時監視及び定期監視）

ア 常時監視結果

常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校及び木曾岬町東部公民館における環境監視結果は、表 3-2(1)～(4)のとおりである。

年間の Lden は、
常滑市立鬼崎中学校では 43dB、
美浜町野間（ちびっこ広場）では 43dB、
弥富市立大藤小学校では 45dB、
木曾岬町東部公民館では 46dB であった。

各調査地点における月別の Lden 及び測定された機数は図 3-2 のとおりである。なお、「測定された機数」は、暗騒音より 10dB 以上高い騒音を測定した機数であり、実際に飛行した航空機数とは異なる。

月間の Lden は、
常滑市立鬼崎中学校では、年間通して 41dB～44dB、
美浜町野間（ちびっこ広場）では、年間通して 41dB～45dB
であった。これらに対し、
弥富市立大藤小学校では、4月～11月、2、3月が 41dB～47dB、12月～1月は 32dB～36dB であった。
木曾岬町東部公民館では、4月～11月、2、3月が 42dB～48dB、12月～1月は 33dB～37dB であった。

月別の測定された機数は、
常滑市立鬼崎中学校では
4月、5月と9月～3月は 2,200～3,000 機台と多く、中でも3月が 3,090 機と最も多かった。
6月～8月は 1,500 機～1,600 機台と少なく、中でも6月が 1,520 機と最も少なかった。
美浜町野間（ちびっこ広場）は、
10月～3月は 2,000～2,900 機台と多く、中でも1月が 2,970 機と最も多かった。
4月～9月は 500～1,500 機台と少なく、中でも8月が 583 機と最も少なかった。
弥富市立大藤小学校では
4月～10月、3月は 1,000～2,500 機台と多く、中でも8月が 2,592 機と最も多かった。
11月～2月は 200～700 機台と少なく、中でも1月が 297 機と最も少なかった。
木曾岬町東部公民館は
4月～10月、3月は 1,000～2,600 機台と多く、中でも8月が 2,628 機と最も多かった。
11月～2月は 300～700 機台と少なく、中でも1月が 321 機と最も少なかった。

年間機数は、常滑市立鬼崎中学校で最も多く、次いで美浜町野間（ちびっこ広場）、木曾岬町東部公民館、弥富市立大藤小学校の順で、常滑市立鬼崎中学校が 29,000 機

程度であり、美浜町野間（ちびっこ広場）は、21,000 機程度、木曾岬町東部公民館、弥富市立大藤小学校は 16,000 機程度であった。

なお、各調査地点の測定機数は、基本的に航空機が風上に向かって離着陸する滑走路運用方式をとることから、空港島周辺の風向きに大きな影響を受ける。また、空港近傍では離陸便、着陸便の両方が測定されるが、空港から離れた地域では離陸便の高度が着陸便に対して高くなることから、着陸便の測定が支配的になる。

こうしたことから、北風が吹く冬場は空港島の近くにある常滑市立鬼崎中学校では北向きの離陸便が多く測定され、南側にある美浜町野間（ちびっこ広場）では、北向きの着陸便が多く測定される。

一方、南風が吹く夏場は、空港島の北側にある弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では南向きの着陸便が多く測定される。従って、月間の Lden は、常滑市立鬼崎中学校と、美浜町野間(ちびっこ広場)では冬場に高く、弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では夏場が高い傾向にあるものと考えられる。

各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数は、図 3-3 のとおりである。また、最大離陸重量別の主な航空機材リストは表 3-3 のとおりである。

最大離陸重量別に各調査地点において測定された機数は、4 地点とも 50～100t（ボーイング 737、エアバス 320 等）の機材が最も多く、次いで常滑市立鬼崎中学校では、200～250t（エアバス 333、ボーイング 787 等）の機材が多く、美浜町野間(ちびっこ広場)、弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では 50t 以下(ボンバルディア DHC-8、CRJ 等)の機材が多かった。

年間のピークレベルの度数分布は、表 3-4 のとおりである。

常滑市立鬼崎中学校では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB（測定された機数の年間合計に占める割合 48.5%）であり、70dB 以上の機数の割合は 0.3%であった。

美浜町野間（ちびっこ広場）では測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB（同 55.2%）であり、70dB 以上の機数の割合は 0.4%であった。

弥富市立大藤小学校では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB（同 48.1%）であり、70dB 以上の機数の割合は 1.4%であった。

木曾岬町東部公民館では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB（同 51.4%）であり、70dB 以上の機数の割合は 0.9%であった。

表 3-2(1) 航空機騒音調査結果 (①常滑市立鬼崎中学校)

年月	測定日数(日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピークレベル の パワー 平均値 (dB)
平成27年 4月	30	44	155	1,786	436	136	2,513	84	42	41	35	56	60
5月	31	42	144	1,530	406	134	2,214	71	41	38	32	54	59
6月	30	41	139	1,041	263	77	1,520	51	39	38	32	53	59
7月	31	43	194	897	425	126	1,642	53	39	40	35	55	60
8月	31	41	157	925	346	105	1,533	49	39	38	33	54	59
9月	30	43	150	1,642	346	85	2,223	74	41	40	34	55	59
10月	31	43	161	2,064	376	72	2,673	86	42	40	34	55	60
11月	30	44	156	2,422	363	60	3,001	100	43	40	34	56	60
12月	31	44	137	2,492	365	60	3,054	99	43	41	33	56	61
平成28年 1月	31	44	114	2,486	348	53	3,001	97	43	41	34	56	61
2月	29	44	127	2,224	378	60	2,789	96	43	41	33	56	60
3月	31	44	174	2,368	448	100	3,090	100	43	41	34	56	60
年間値	366	43	1,808	21,877	4,500	1,068	29,253	80	42	40	34	55	60

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-2(2) 航空機騒音調査結果 (②美浜町野間 (ちびっこ広場))

年月	測定日数(日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピークレベル の パワー 平均値 (dB)
平成27年 4月	30	44	102	915	452	114	1,583	53	40	41	35	55	60
5月	31	42	88	806	253	66	1,213	39	38	38	34	53	60
6月	30	43	82	698	287	78	1,145	38	38	39	35	54	61
7月	31	43	99	400	252	86	837	27	37	38	35	54	61
8月	31	41	104	155	238	86	583	19	34	38	34	52	60
9月	30	41	63	915	51	31	1,060	35	38	35	33	51	59
10月	31	43	133	1,288	586	112	2,119	68	40	42	35	55	59
11月	30	44	129	1,478	710	119	2,436	81	40	42	35	55	59
12月	31	45	160	1,733	810	123	2,826	91	41	43	36	56	60
平成28年 1月	31	44	165	1,786	886	133	2,970	96	41	44	35	56	59
2月	29	44	154	1,440	665	123	2,382	82	40	43	36	56	60
3月	31	44	153	1,237	601	132	2,123	68	40	43	35	55	60
年間値	366	43	1,432	12,851	5,791	1,203	21,277	58	39	41	35	55	60

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-2 (3) 航空機騒音調査結果 (③弥富市立大藤小学校)

年 月	測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピークレベル のパワー 平均値 (dB)
平成27年 4月	30	47	3	1,057	388	50	1,498	50	44	47	36	57	65
5月	31	47	6	1,403	541	61	2,011	65	45	48	36	58	65
6月	30	47	12	1,530	595	48	2,185	73	46	48	35	59	64
7月	31	47	16	1,760	632	59	2,467	80	46	47	35	58	64
8月	31	47	17	1,879	622	74	2,592	84	46	47	36	58	64
9月	30	45	9	1,169	450	28	1,656	55	44	46	32	57	64
10月	31	43	0	753	244	21	1,018	33	42	43	30	54	64
11月	30	41	1	522	173	9	705	24	40	43	26	52	63
12月	31	36	1	302	80	4	387	12	35	37	22	47	61
平成28年 1月	31	32	2	264	29	2	297	10	33	30	16	43	59
2月	29	41	3	450	135	4	592	20	40	42	27	52	64
3月	31	44	2	840	317	17	1,176	38	43	46	29	56	65
年間値	366	45	72	11,929	4,206	377	16,584	45	43	45	33	56	64

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

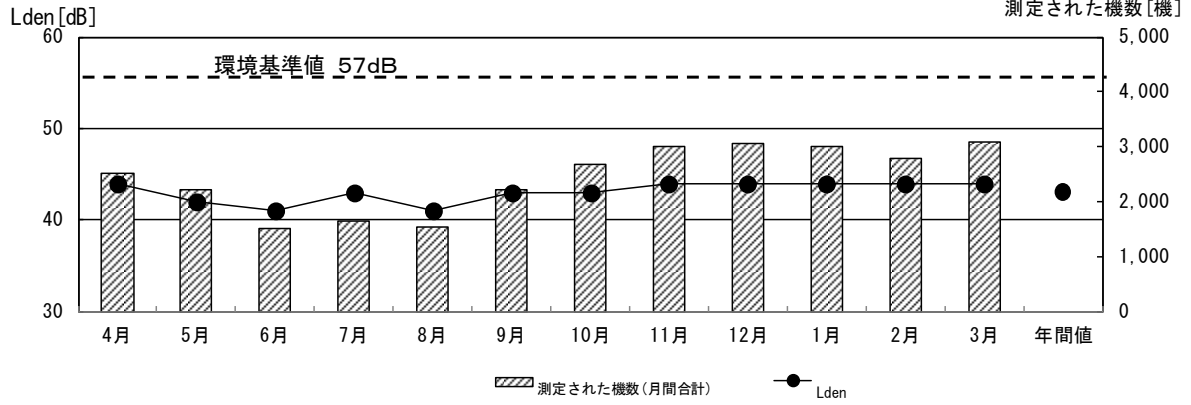
表 3-2 (4) 航空機騒音調査結果 (④木曾岬町東部公民館)

年 月	測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピークレベル のパワー 平均値 (dB)
平成27年 4月	30	47	3	1,041	464	53	1,561	52	45	48	36	58	65
5月(注2)	28	48	5	1,359	523	58	1,945	69	46	48	36	58	64
6月(注2)	28	48	11	1,464	535	47	2,057	73	46	48	36	59	64
7月	31	48	15	1,836	628	59	2,538	82	47	48	35	58	64
8月	31	48	17	1,914	622	75	2,628	85	46	48	37	58	64
9月	30	46	10	1,280	451	28	1,769	59	45	47	32	57	64
10月	31	44	0	848	242	19	1,109	36	43	44	31	54	64
11月	30	42	1	594	171	9	775	26	41	43	27	53	63
12月	31	37	0	318	81	4	403	13	36	38	21	47	61
平成28年 1月	31	33	2	288	29	2	321	10	34	31	18	44	59
2月	29	42	4	503	143	5	655	23	40	43	27	52	64
3月	31	45	2	876	313	17	1,208	39	44	47	30	56	64
年間値	361	46	70	12,321	4,202	376	16,969	47	44	46	33	56	64

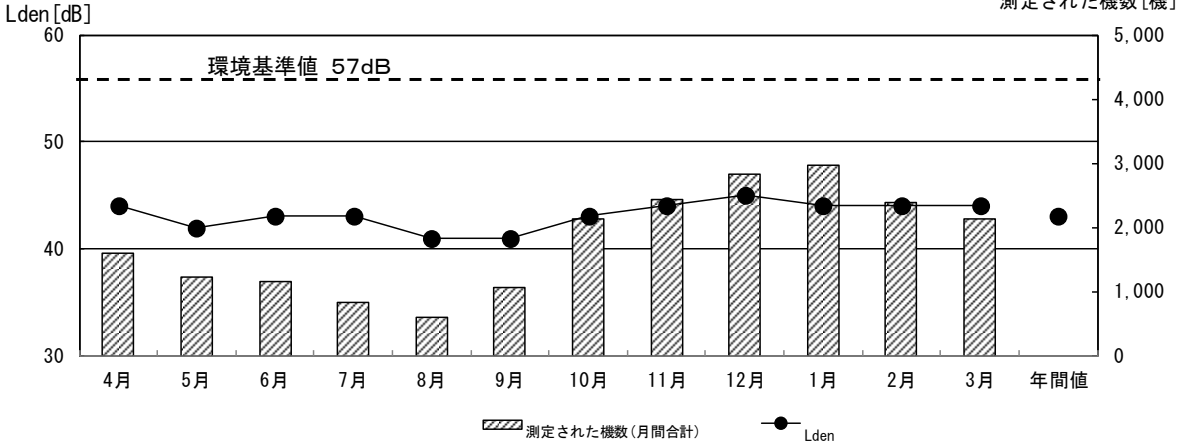
注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2: 5月9日(土)、10日(日)、12日(火)、6月14日(日)、15日(月)の5日間、機器の不具合により欠測。

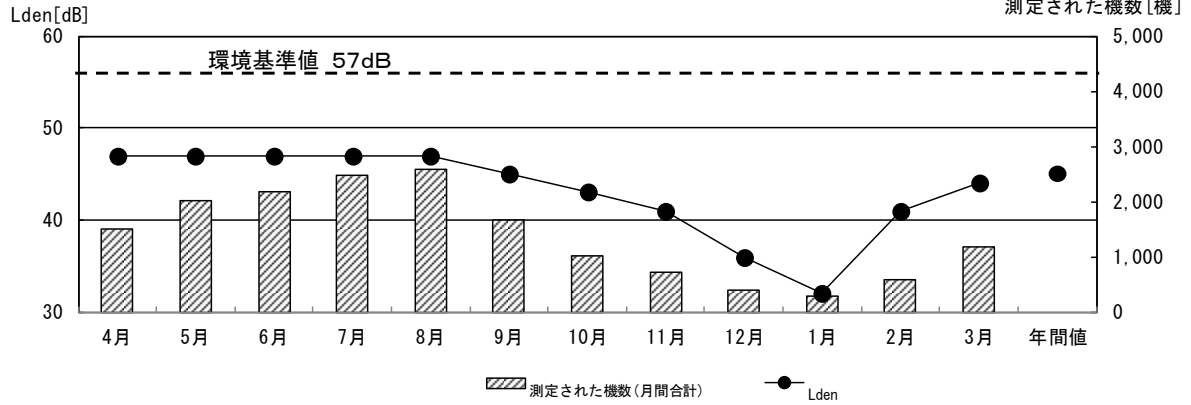
①常滑市立鬼崎中学校



②美浜町野間(ちびっこ広場)



③弥富市立大藤小学校



④木曾岬町東部公民館

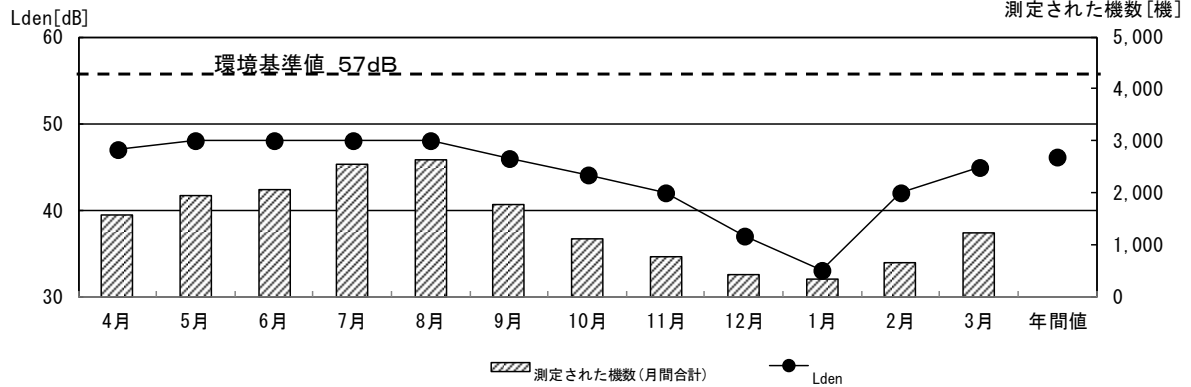
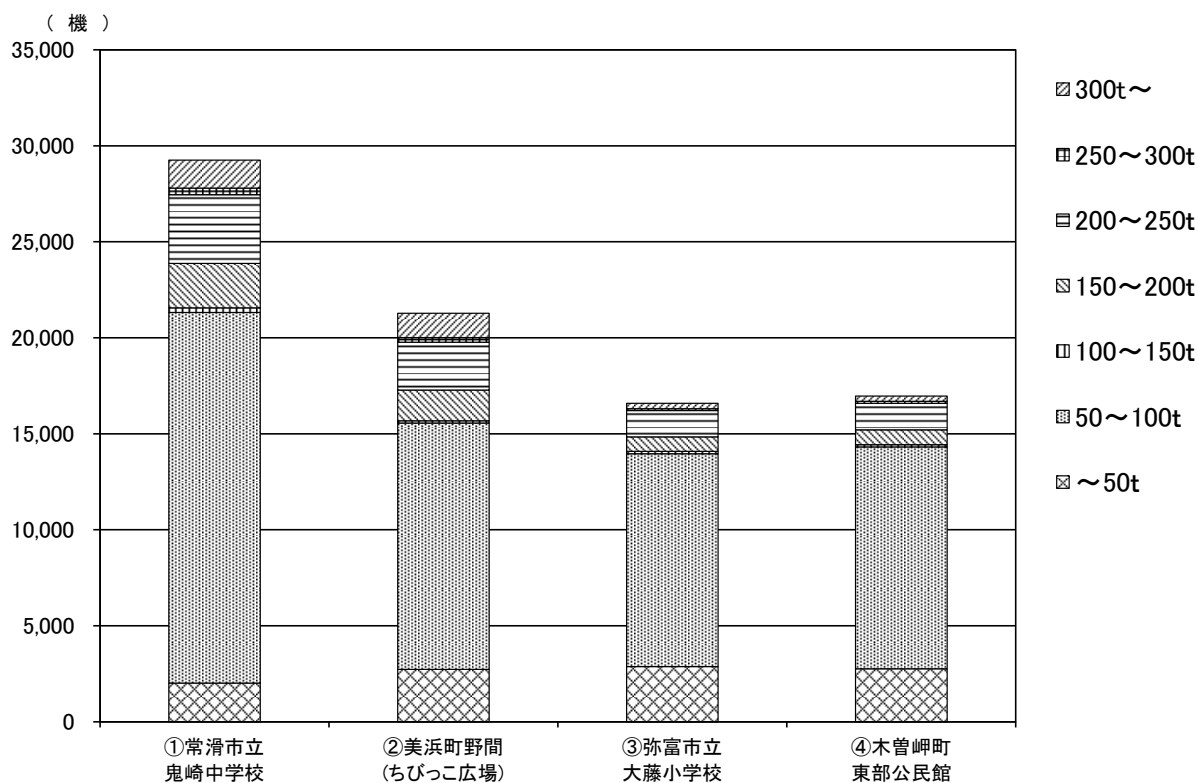


図 3-2 調査地点別の Lden 及び測定された機数



注1：調査期間は平成27年4月1日～平成28年3月31日

図 3-3 各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数

表 3-3 最大離陸重量別の主な航空機材リスト

最大離陸重量	機材
300t~	ボーイング747-200
	ボーイング747-400
	ボーイング747-8
	ボーイング747-LCF
	ボーイング777-300/300ER
	アントノフ
250~300t	エアバスA340-300
	ボーイング747-400D
200~250t	エアバスA330-200
	エアバスA330-300
	ボーイング777-200/200ER
	ボーイング787-800
150~200t	エアバスA300-600/600R
	ボーイング767-300/300ER
100~150t	ボーイング757-200
50~100t	エアバスA319-100
	エアバスA320-200
	エアバスA321-200
	ボーイング737-400
	ボーイング737-500
	ボーイング737-700
	ボーイング737-800
	ボーイング737-900
~50t	ボンバルディアDHC-8
	ボンバルディアCRJ
	サーブ2000
	セスナ525C
	アグスタ ウェストランド139
	ベル412

表 3-4 ピークレベルの度数分布（常時監視）

①常滑市立鬼崎中学校

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
平成27年4月	545	1,227	648	84	9	2,513
5月	702	1,056	402	47	7	2,214
6月	492	735	263	27	3	1,520
7月	465	746	349	75	7	1,642
8月	416	799	269	40	9	1,533
9月	443	1,284	433	57	6	2,223
10月	466	1,404	712	83	8	2,673
11月	512	1,524	869	90	6	3,001
12月	362	1,383	1,184	117	8	3,054
平成28年1月	366	1,238	1,272	119	6	3,001
2月	386	1,312	985	100	6	2,789
3月	571	1,492	902	114	11	3,090
合計	5,726	14,200	8,288	953	86	29,253
割合(%)	19.6	48.5	28.3	3.3	0.3	100.0

②美浜町野間（ちびっこ広場）

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
平成27年4月	305	844	384	44	6	1,583
5月	309	641	217	40	6	1,213
6月	231	637	228	41	8	1,145
7月	215	429	146	31	16	837
8月	170	264	112	35	2	583
9月	268	595	164	30	3	1,060
10月	467	1,210	398	40	4	2,119
11月	608	1,394	403	28	3	2,436
12月	465	1,621	669	59	12	2,826
平成28年1月	533	1,723	640	64	10	2,970
2月	468	1,284	551	65	14	2,382
3月	461	1,098	495	60	9	2,123
合計	4,500	11,740	4,407	537	93	21,277
割合(%)	21.1	55.2	20.8	2.5	0.4	100.0

③弥富市立大藤小学校

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
平成27年4月	58	240	677	493	30	1,498
5月	89	315	997	565	45	2,011
6月	63	358	1,080	656	28	2,185
7月	70	479	1,332	567	19	2,467
8月	112	518	1,392	544	26	2,592
9月	107	343	825	373	8	1,656
10月	104	190	489	224	11	1,018
11月	93	188	287	129	8	705
12月	120	125	113	28	1	387
平成28年1月	112	116	59	9	1	297
2月	73	159	225	119	16	592
3月	94	216	503	332	31	1,176
合計	1,095	3,247	7,979	4,039	224	16,584
割合(%)	6.6	19.5	48.1	24.4	1.4	100.0

④木曾岬町東部公民館

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
平成27年4月	43	252	718	528	20	1,561
5月(注2)	66	293	997	565	24	1,945
6月(注2)	40	306	1,075	612	24	2,057
7月	37	428	1,492	568	13	2,538
8月	45	461	1,618	484	20	2,628
9月	106	346	909	395	13	1,769
10月	74	230	552	247	6	1,109
11月	89	216	308	155	7	775
12月	97	135	141	29	1	403
平成28年1月	110	131	67	13	0	321
2月	82	156	270	134	13	655
3月	69	204	570	351	14	1,208
合計	858	3,158	8,717	4,081	155	16,969
割合(%)	5.1	18.6	51.4	24.0	0.9	100.0

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：木曾岬町東部公民館は、5月9日(土)、10日(日)、12日(火)、6月14日(日)、15日(月)の5日間は、機器の不具合により欠測。

イ 定期監視結果

平成 27 年 6 月 23 日～29 日の定期監視 1 回目及び平成 28 年 2 月 2 日～8 日の定期監視 2 回目の調査結果は、表 3-5(1)、表 3-5(2)のとおりである。

定期監視 1 回目の Lden は 22dB～48dB の範囲であり、定期監視 2 回目の Lden は 29dB～41dB の範囲であった。

定期監視 1 回目のピークレベルの度数分布は表 3-6(1)のとおりである。
70dB 以上のピークレベルが測定されたのは、
愛知県知多地区では常滑市 (T1)、南知多町 (T2)、
海部地区では愛西市 (A1)、弥富市 (A2、A3)、
三重県では木曾岬町 (M2) であった。

定期監視 2 回目のピークレベルの度数分布は表 3-6(2)のとおりである。
70dB 以上のピークレベルが測定されたのは、
愛知県知多地区では常滑市 (T1)、
愛知県海部地区では愛西市 (A1)、弥富市 (A2、A3)、
三重県では木曾岬町 (M2)、伊勢市 (M4) であった。

また、各調査地点の測定機数は、常時監視結果と同様、空港島周辺の風向きが運用方向に影響するため、空港島に近い常滑市立西小学校 (T1) や空港島の南側にある南知多町町民会館体育館 (T2)、三重県伊勢市神社みなとまち館 (M4) では、冬場の北風が吹くときに多くなっている。

一方で、空港島の北側にある愛知県海部地区の愛西市役所 (A1)、弥富市十四山西部小学校 (A2)、弥富市鍋田公民館 (A3)、三重県の桑名市大山田地区市民センター (M1)、木曾岬町農村集落多目的共同利用施設 (M2) では、夏場に南風が吹くときに多くなっている。

表 3-5 (1) 航空機騒音調査結果 (定期監視 : 1 回目)

調査期間 : 平成27年06月23日(火) ~ 06月29日(月)

調 査 地 点				測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
地区	番号	市町村名	施 設 名 称			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピークレベル のハワー 平均値 (dB)
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	7	37	18	111	44	13	186	27	34	34	29	50	58
	T 2	南知多町	町民会館体育館	7	38	21	87	61	13	182	26	33	37	29	50	57
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所(注3)	7	40	2	119	31	0	152	22	40	41	20	51	63
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	7	45	4	347	103	7	461	66	43	45	32	56	62
	A 3	弥富市	鍋田公民館	7	48	4	338	115	13	470	67	46	48	36	59	65
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター	7	38	3	83	31	4	121	17	36	36	27	50	61
	M 2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	7	43	3	293	100	11	407	58	42	43	32	54	61
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	7	36	1	50	18	4	73	10	35	36	25	47	61
	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	7	36	5	94	29	9	137	20	35	33	25	48	59
	M 5	鳥羽市	鳥羽東中学校	7	22	0	3	3	0	6	1	20	24	—	34	59

注1 : 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2 : 表中の「—」は、期間を通して航空機数が計上されず、騒音が記録されなかったを示す。

注3 : 愛西市役所改修工事により、愛西市市江コミュニティーセンターで実施した。

表 3-5(2) 航空機騒音調査結果（定期監視：2回目）

調査期間：平成28年02月02日(火)～02月08日(月)

調査地点				測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
地区	番号	市町村名	施設名称			0:00 ～ 7:00	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 24:00	計	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00	WECPNL	ヒールレベル のパー 平均値 (dB)
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	7	40	37	406	68	14	525	75	39	36	31	54	58
	T 2	南知多町	町民会館体育館	7	38	23	256	117	23	419	60	34	37	29	50	55
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所	7	37	0	18	16	2	36	5	26	34	30	47	63
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	7	39	0	35	29	2	66	9	33	39	30	49	62
	A 3	弥富市	鍋田公民館	7	41	0	96	30	2	128	18	37	41	30	51	62
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター	7	31	4	20	10	1	35	5	29	30	21	44	59
	M 2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	7	35	0	67	28	2	97	14	33	36	24	47	59
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	7	36	1	77	21	1	100	14	36	37	19	46	60
	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	7	40	14	160	71	5	250	36	38	40	29	53	61
	M 5	鳥羽市	鳥羽東中学校	7	29	0	11	5	0	16	2	28	31	—	42	63

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：表中の「—」は、期間を通して航空機数が計上されず、騒音が記録されなかったを示す。

表 3-6(1) 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視 1 回目）

調査期間：平成27年06月23日（火）～ 06月29日（月）

調 査 地 点				測定された機数（機）（注1）					
地区	番号	市町村名	施 設 名 称	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	98	61	23	3	1	186
	T 2	南知多町	町民会館体育館	115	51	14	0	2	182
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所(注2)	7	50	72	21	2	152
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	29	153	232	45	2	461
	A 3	弥富市	鍋田公民館	9	40	255	158	8	470
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター	8	54	49	10	0	121
	M 2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	65	187	119	35	1	407
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	4	30	38	1	0	73
	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	52	56	24	5	0	137
	M 5	鳥羽市	鳥羽東中学校	2	2	2	0	0	6

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：愛西市役所改修工事により、愛西市市江コミュニティセンターで実施した。

表 3-6(2) 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視 2 回目）

調査期間：平成28年02月02日（火）～ 02月08日（月）

調 査 地 点				測定された機数（機）（注1）					
地区	番号	市町村名	施 設 名 称	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	150	293	75	6	1	525
	T 2	南知多町	町民会館体育館	284	112	21	2	0	419
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所	16	10	7	2	1	36
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	4	28	27	5	2	66
	A 3	弥富市	鍋田公民館	32	35	38	22	1	128
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター	6	22	5	2	0	35
	M 2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	35	44	15	2	1	97
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	5	59	35	1	0	100
	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	57	94	86	11	2	250
	M 5	鳥羽市	鳥羽東中学校	3	3	8	2	0	16

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

(3) 航空機騒音の項目別比較検討

評価を行うにあたり、次の①と②について比較・検討した。

① 環境基準値との比較

環境監視結果について、環境基準値（I 類型の基準値 Lden 57dB（表 3-7））と比較した。

② 開港後の推移

開港後の変動傾向を、旧評価指標の WECPNL を用いて把握した。

ア 環境基準値との比較

(ア) 常時監視結果

平成 27 年度の常時監視 4 地点における航空機騒音調査結果は、表 3-8 のとおりである。

Lden は、常滑市立鬼崎中学校では 43dB、美浜町野間（ちびっこ広場）では 43dB、弥富市立大藤小学校では 45dB、木曾岬町東部公民館では 46dB であった。

環境基準値と比較した結果、4 地点全てにおいて航空機騒音の環境基準（I 類型の基準値 Lden 57dB、以下同じ）を満たしていた。

なお、月別の Lden は、空港島の北側にある調査地点では春から夏が高くなり、空港島の周辺や南側にある調査地点では秋から冬が高い値となった（P16 図 3-2 参照）。これは、春から夏は南向き運用比率が高く、秋から冬は北向き運用比率が高いためである。

(イ) 定期監視結果

平成 27 年度の定期監視 10 地点における 1 回目、2 回目の航空機騒音調査結果は、表 3-9 及び図 3-4 のとおりである。

Lden は 27dB～46dB の範囲にあり、環境基準値と比較した結果、10 地点全てにおいて航空機騒音の環境基準を満たしていた。

図 2-4 に示したとおり運用比率は、定期監視 1 回目が行われた平成 27 年 6 月は南向き運用比率が高く、定期監視 2 回目が行われた平成 28 年 2 月は北向き運用比率が高かった。その結果、空港島の北側にある愛知県海部地区（A1、A2、A3）や三重県の桑名市（M1）、木曾岬町（M2）では 1 回目の調査結果が 2 回目より高い値となり、愛知県の常滑市（T1）、三重県の伊勢市（M4）、鳥羽市（M5）では 2 回目の調査結果の方が高い値となっていた。

なお、参考までに、愛知県及び三重県が実施した中部国際空港に係る航空機騒音の調査結果を表 3-10 及び表 3-11 に示す。

表 3-7 航空機騒音に係る環境基準

＜中部国際空港の航空機騒音に係る環境基準＞

該当地域		地域の 類型	基準値	施行
愛知 県	常滑市、弥富市、海部郡飛島村並びに知多郡南知多町及び美浜町の区域。ただし、空港島の区域、河川区域及び工業専用地域を除く。	I	Lden 57dB 以下	平成18年 4月1日
三 重 県	桑名市の長島町、鳥羽市の答志島及び木曾岬町の区域。ただし、河川区域を除く。	I		平成19年 4月1日

(昭和48.12.27 環境庁告示第154号)
改正 平5環告91
改正 平12環告78
改正 平成19年環告114

環境基本法(平成5年法律第91号)第16条第1項の規定に基づく騒音に係る環境上の条件につき、生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで維持することが望ましい航空機騒音に係る基準(以下「環境基準」という。)及びその達成期間は、次のとおりとする。

第1 環境基準

1 環境基準は、地域の類型ごとに次表の基準値の欄に掲げるとおりとし、各類型をあてはめる地域は、都道府県知事が指定する。

地域の類型	基準値
I	57デシベル以下
II	62デシベル以下

(注) Iをあてはめる地域は専ら住居の用に供される地域とし、IIをあてはめる地域はI以外の地域であつて通常の生活を保全する必要がある地域とする。

(出典：環境省HP)

表 3-8 航空機騒音調査結果 (常時監視)

調査期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

調査地点	環境基準		測定された機数 (機) (注1)	時間帯別 L_{Aeq} (dB)			測定 日数 (日)	(参考)			
	地域 の 類型	環境 基準値 L_{den} (dB)		年間	日平均	7:00 ～ 19:00		19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00	WECPNL	ピークレベルの パー 平均値 (dB)
①常滑市立 鬼崎中学校	I	57以下	43	29,253	80	42	40	34	366	55	60
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	I	57以下	43	21,277	58	39	41	35	366	55	60
③弥富市立 大藤小学校	I	57以下	45	16,584	45	43	45	33	366	56	64
④木曾岬町 東部公民館	I	57以下	46	16,969	47	44	46	33	361 (注2)	56	64

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：5月9日(土)、10日(日)、12日(火)、6月14日(日)、15日(月)の5日間、機器の不具合により欠測。

表 3-9 航空機騒音調査結果（定期監視）

調 査 地 点				平均値			調 査 結 果									
							1 回目(注 1)					2 回目(注 2)				
地区	番号	市町村名	施 設 名 称	L_{den} (dB)	測定され た機数の 1日平均 (機)	(参考) WECPNL	L_{den} (dB)	測定され た機数 (機) (注 3)	測定され た機数の 1日平均 (機)	測定 日数 (日)	(参考) WECPNL	L_{den} (dB)	測定され た機数 (機) (注 3)	測定され た機数の 1日平均 (機)	測定 日数 (日)	(参考) WECPNL
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	39	51	52	37	186	27	7	50	40	525	75	7	54
	T 2	南知多町	町民会館体育館	38	43	50	38	182	26	7	50	38	419	60	7	50
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所(注 4)	39	13	49	40	152	22	7	51	37	36	5	7	47
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	43	38	54	45	461	66	7	56	39	66	9	7	49
	A 3	弥富市	鍋田公民館	46	43	57	48	470	67	7	59	41	128	18	7	51
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター	36	11	48	38	121	17	7	50	31	35	5	7	44
	M 2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	41	36	52	43	407	58	7	54	35	97	14	7	47
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	36	12	47	36	73	10	7	47	36	100	14	7	46
	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	38	28	51	36	137	20	7	48	40	250	36	7	53
	M 5	鳥羽市	鳥羽東中学校	27	2	40	22	6	1	7	34	29	16	2	7	42

注 1：平成27年06月23日(火)～06月29日(月)に実施。

注 2：平成28年02月02日(火)～02月08日(月)に実施。

注 3：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注 4：愛西市役所改修工事により、1回目は愛西市市江コミュニティセンターで実施した。

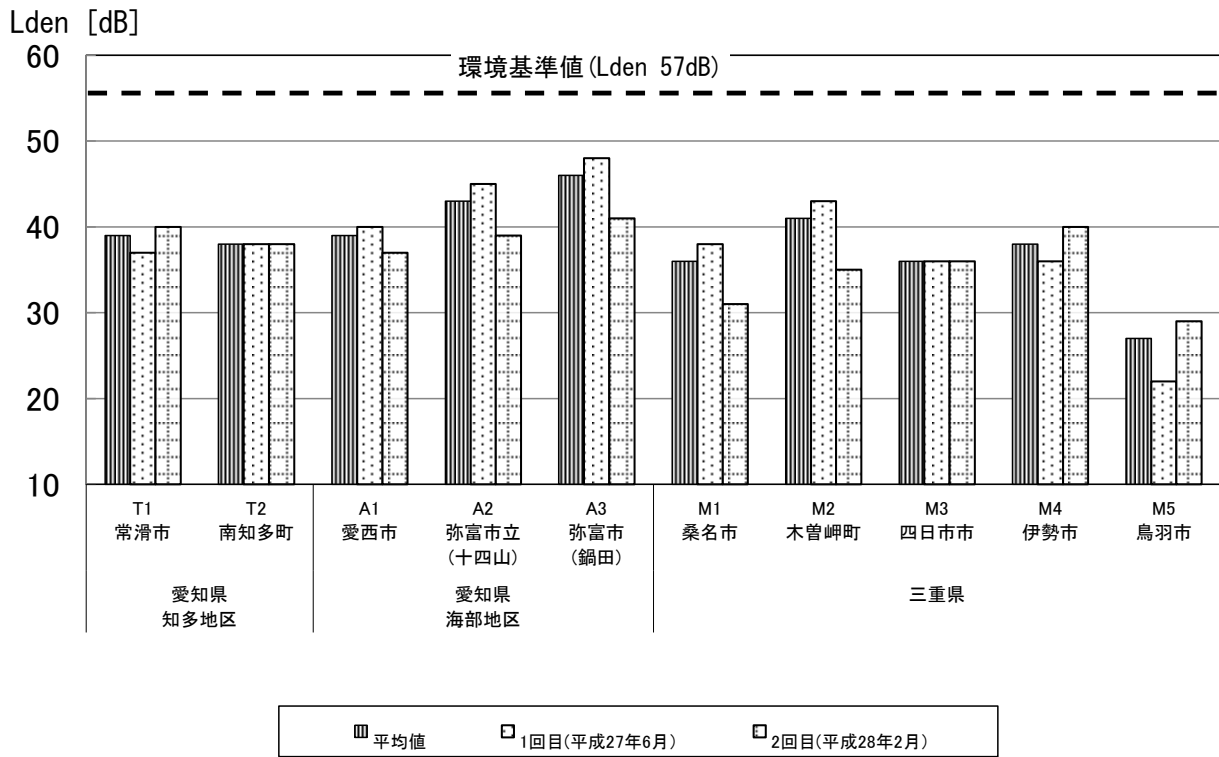


図 3-4 調査地点の Lden (定期監視)

表 3-10 中部国際空港に係る愛知県の航空機騒音の調査結果

表14 平成27年11月末までの中部国際空港周辺の短期調査結果

No.	調査地点	地域の類型	調査期間	調査結果 (Lden)	環境基準 (Lden)
1	飛島村大字服岡	I	27. 7. 8～27. 7. 14	33	57
2	弥富市鍋田町	I	27. 6. 29～27. 7. 5	48	57
3	常滑市樽水町	I	27. 6. 19～27. 6. 25	35	57
4	美浜町大字上野間	I	27. 6. 11～27. 6. 17	32	57
5	南知多町大字豊浜	I	27. 6. 3～27. 6. 9	29	57
6	愛西市東篠町(注1)	—	27. 7. 18～27. 7. 24	41	—

注) 1 愛西市の調査地点は、工事のため平成25年度から地点を変更している。

注 : - は類型指定されていないことを示す。

出典：愛知県ホームページ「平成27年度航空機騒音調査結果について」から抜粋。

表 3-11 中部国際空港に係る三重県の航空機騒音の調査結果

調査地点 木曾岬町東部地区クリーンセンター
調査期間 平成27年7月28日～8月3日

調査日	評価値 L _{den} [dB]	参考値						
		航空機騒音の L _{den} [dB]			騒音発生回数			
		L _{denrd}	L _{denre}	L _{denrn}	昼間	夕方	夜間	計
7月28日(火)	34.9	37.1	31.2	-	11	1	0	12
7月29日(水)	43.2	42.4	44.9	-	28	19	0	47
7月30日(木)	35.3	38.1	26.8	-	11	1	0	12
7月31日(金)	46.7	45.1	47.4	34.0	60	29	5	94
8月1日(土)	46.5	44.8	47.0	34.1	66	27	4	97
8月2日(日)	47.3	45.9	47.2	35.7	73	25	5	103
8月3日(月)	47.3	45.7	46.9	36.1	66	25	5	96
測定期間全体	45.1	43.8	45.3	32.6	45	18	5	66

調査地点 鳥羽市答志公民館
調査期間 平成27年12月8日～12月14日

調査日	評価値 L _{den} [dB]	参考値						
		航空機騒音の L _{den} [dB]			騒音発生回数			
		L _{denrd}	L _{denre}	L _{denrn}	昼間	夕方	夜間	計
12月8日(火)	31.7	26.8	34.9	-	2	2	0	4
12月9日(水)	29.4	32.4	-	-	7	0	0	7
12月10日(木)	31.7	33.7	28.9	-	7	1	0	8
12月11日(金)	42.2	35.3	45.8	-	9	15	0	24
12月12日(土)	27.6	30.6	-	-	7	0	0	7
12月13日(日)	34.0	32.9	35.9	-	6	2	0	8
12月14日(月)	36.9	30.0	40.4	-	3	7	0	10
測定期間全体	36.1	39.1	39.1	-	6	4	0	10

出典：三重県ホームページ「中部国際空港に係る航空機騒音の調査結果（平成27年度）」から抜粋。

イ 開港後の推移

(ア) 常時監視結果

中部国際空港の開港後からの変動傾向を把握するため、常時監視調査による航空機騒音の推移をとりまとめた。

平成 24 年度までの年度別の WECPNL と平成 25 年度以降の参考の WECPNL、及び各年度の測定された機数の推移は、表 3-12 及び図 3-5、図 3-6 のとおりである。また、平成 25 年度以降の評価指標である Lden と、参考として示した WECPNL を図 3-7 に示す。なお、平成 16 年度は開港の年度で、2 月 17 日～3 月 31 日の値を集計したものであり、短期間の測定値であることから参考として示した。

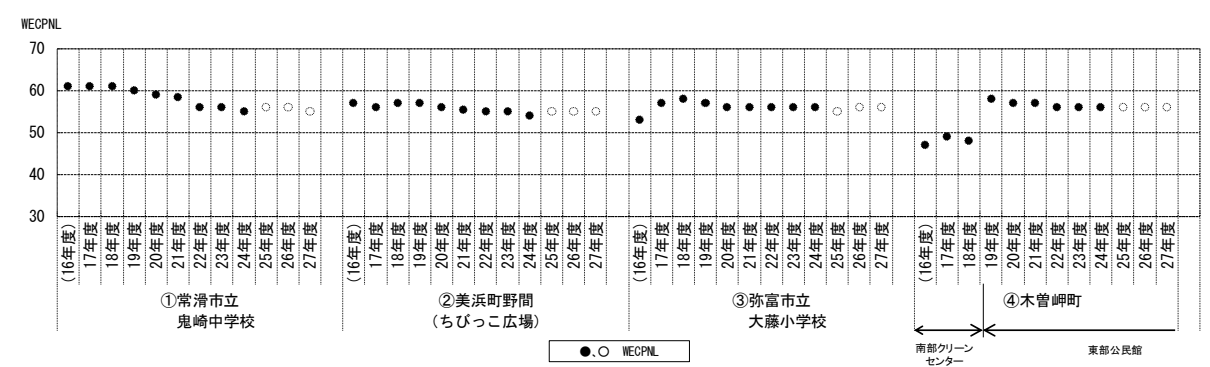
表 3-12 年度別の Lden、WECPNL 及び測定機数（常時監視）

調査地点	Lden (dB) : 上段 WECPNL: 下段											測定された機数の日平均 (機)												
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
①常滑市立 鬼崎中学校	(61)	61	61	60	59	58	56	56	55	(56)	(56)	(55)	(108)	98	99	91	86	78	62	60	63	67	75	80
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	(57)	56	57	57	56	55	55	55	54	(55)	(55)	(55)	(101)	92	94	84	76	68	59	60	47	52	55	58
③弥富市立 大藤小学校	(53)	57	58	57	56	56	56	56	56	(55)	(56)	(56)	(25)	54	54	51	44	39	41	40	43	41	43	45
④木曾岬町 東部公民館	(47*)	49*	48*	58	57	57	56	56	56	(56)	(56)	(56)	(6*)	13*	10*	49	43	39	41	40	43	42	44	47

注1：開港からの変動傾向を把握するために、平成25年度から下段の () 内にWECPNLを参考値として示した。

注2：平成16年度の数字は、平成17年2月17日～3月31日までの値を集計したものであり、() 内に参考値として示した。

注3：木曾岬町の*の数字は、木曾岬町南部クリーンセンターにおける測定値である。



注：平成 16 年度は 2 月 17 日～3 月 31 日の測定値を集計したものであり、参考として示した。

図 3-5 年度別の WECPNL（常時監視）

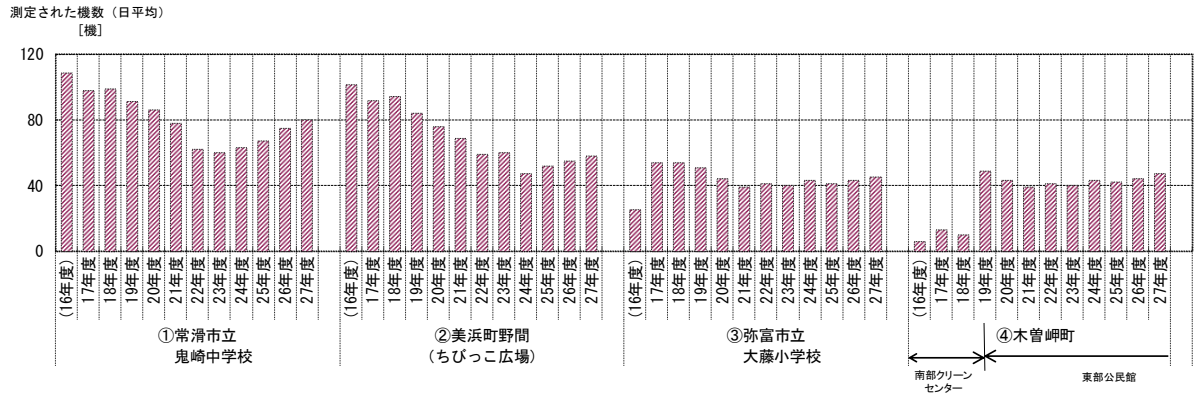


図 3-6 年度別の測定機数 (常時監視)

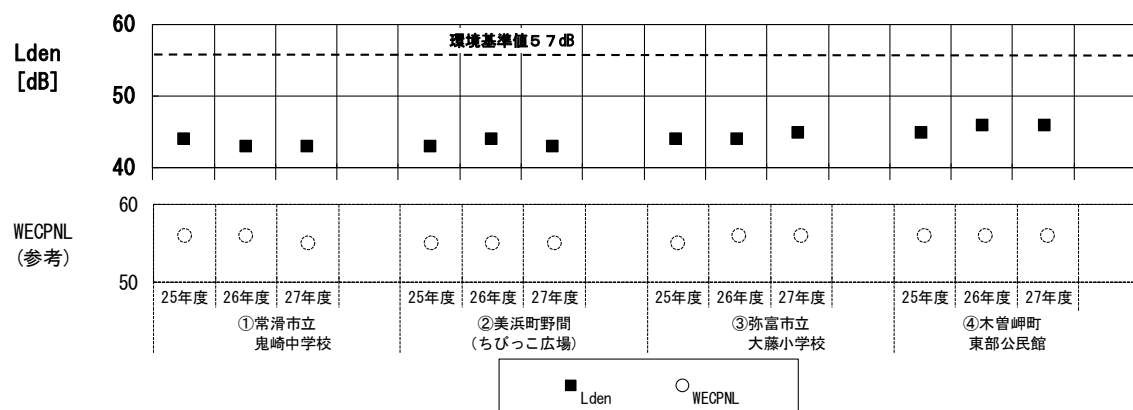


図 3-7 Lden と WECPNL (常時監視)

比較のできる平成 17 年度以降の年間の WECPNL は、常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間 (ちびっこ広場)、弥富市立大藤小学校では毎年度同程度で推移している。また、木曾岬町では平成 19 年度に調査地点を南部クリーンセンターから東部公民館に変更して以降は、毎年度同程度で推移している。

測定された機数は日平均は開港以降減少していたが、常滑市鬼崎中学校、美浜町野間 (ちびっこ広場) は平成 23~24 年度、弥富市立大藤小学校、木曾岬東部公民館は平成 20 年度を境に変化している。

常滑市立鬼崎中学校は平成 24 年度から、美浜町野間 (ちびっこ広場) は平成 25 年度から増加が認められた。

弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館では平成 20 年度以降、39 機から 47 機の間で推移している。

(イ)定期監視結果

開港から平成24年度までの年度別のWECPNLと平成25年度以降の参考のWECPNL、及び各年度の測定された機数の推移は、表3-13及び図3-8(1)、図3-8(2)、図3-9(1)、図3-9(2)のとおりである。また、平成25年度以降の評価指標であるLdenと、参考として示したWECPNLを図3-10に示す。

平成17年2月の開港後1年を経過した平成18年2月から年2回の定期監視を実施している。平成17年度が下半期1回、平成18年度から年2回の測定値が蓄積されたので、年2回の平均値として推移をとりまとめた。

表 3-13 年度別のLden、WECPNL及び測定機数（定期監視）

地区	番号	調査地点		Lden (dB) : 上段 WECPNL : 下段													測定された機数の日平均 (機)																			
				17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度											
愛知県 海部	T1	常滑市	常滑西小学校	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(50)	45	35	27	29	22	30	51	56	43	51											
				年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度											
	T2	南知多町	町民会館体育館	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(49)	50	49	49	48	47	48	50	(50)	(52)	(50)	(8)	17	12	11	8	10	8	16	14	32	43
				年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度										
				17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(47)	49	50	50	48	48	46	50	38*	40*	39*	(6)	9	11	11	7	7	6	18	12*	18*	13*
A1	愛西市	愛西市役所	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(52)	53	55	53	53	52	52	54	(52)	(54)	(54)	(19)	32	36	34	35	36	35	41	33	47	38	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度											
			17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(55)	56	57	56	57	56	57	57	(55)	(58)	(57)	(25)	49	45	44	45	44	43	47	39	55	43	
A2	弥富市	十四山西部小学校	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(39)	45	44	45	45	46	48	49	(46)	(49)	(48)	(2)	4	3	5	7	9	11	12	9	14	11	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度											
			17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(54*)	56*	51	51	51	52	51	53	(51)	(54)	(52)	(21*)	46*	33	38	33	40	40	44	31	50	36	
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(48)	42	42	36	38	37	37	46	(43)	(47)	(47)	(2)	1	2	1	1	1	0	9	7	16	12
				年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度										
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(50)	50	47	46	47	47	49	50	(50)	(52)	(51)	(11)	13	9	11	11	13	13	16	20	23	28
				年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度										
				17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(42)	41	42	37	40	34	39	32	(37)	(40)	(40)	(2)	2	2	1	1	1	1	0	1	2	2
M3	四日市市	海蔵地区市民センター	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(50)	50	47	46	47	47	49	50	(50)	(52)	(51)	(2)	2	2	1	1	1	1	0	1	2	2	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度											
			17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(42)	41	42	37	40	34	39	32	(37)	(40)	(40)	(2)	2	2	1	1	1	1	0	1	2	2	
M4	伊勢市	神社みなとまち館	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(50)	50	47	46	47	47	49	50	(50)	(52)	(51)	(2)	2	2	1	1	1	1	0	1	2	2	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度											
			17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(42)	41	42	37	40	34	39	32	(37)	(40)	(40)	(2)	2	2	1	1	1	1	0	1	2	2	
M5	鳥羽市	鳥羽東中学校	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(42)	41	42	37	40	34	39	32	(37)	(40)	(40)	(2)	2	2	1	1	1	1	0	1	2	2	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度											
			17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	(42)	41	42	37	40	34	39	32	(37)	(40)	(40)	(2)	2	2	1	1	1	1	0	1	2	2	

注1: 開港からの変動傾向を把握するために、平成25年度から下段の()内にWECPNLを参考値として示した。
 注2: 平成17年度のデータは、平成18年2月の1回の調査結果を参考値として()内に示した。
 注3: 平成18年度木曾岬町の測定値の*の数字は、東部公民館での測定値である。
 注4: 平成25年度1回目から平成27年度1回目までの愛西市の測定値の*の数字は、市江コミュニティーセンターでの測定値である。

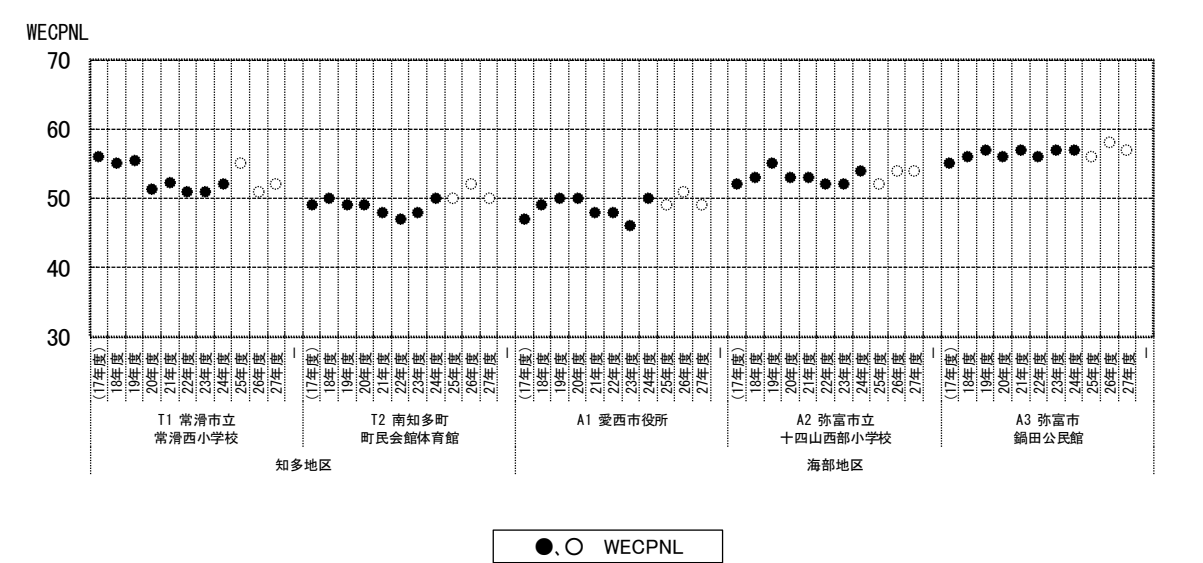
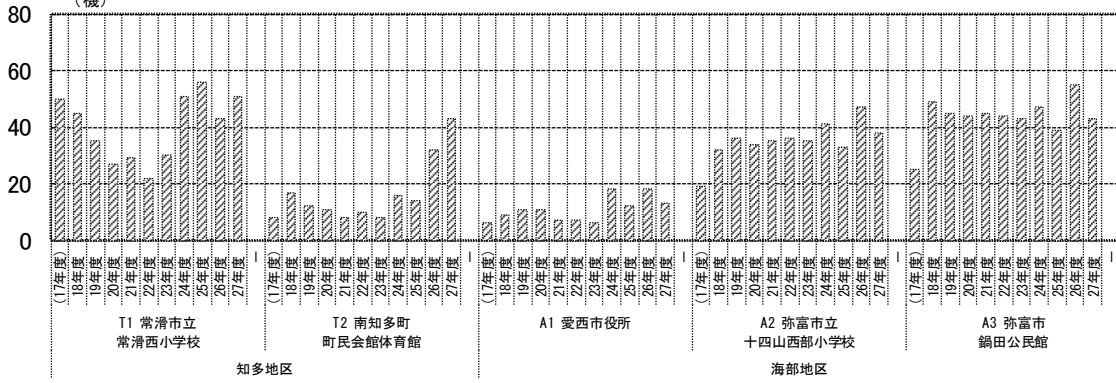


図 3-8(1) 年度別のWECPNL（定期監視 T1,T2,A1,A2,A3）

測定された機数（日平均）
（機）



注：平成 17 年度は下半期 1 回だけの測定値であり、参考として示した。

図 3-9(1) 年度別の測定機数（定期監視 T1,T2,A1,A2,A3）

WECPNL

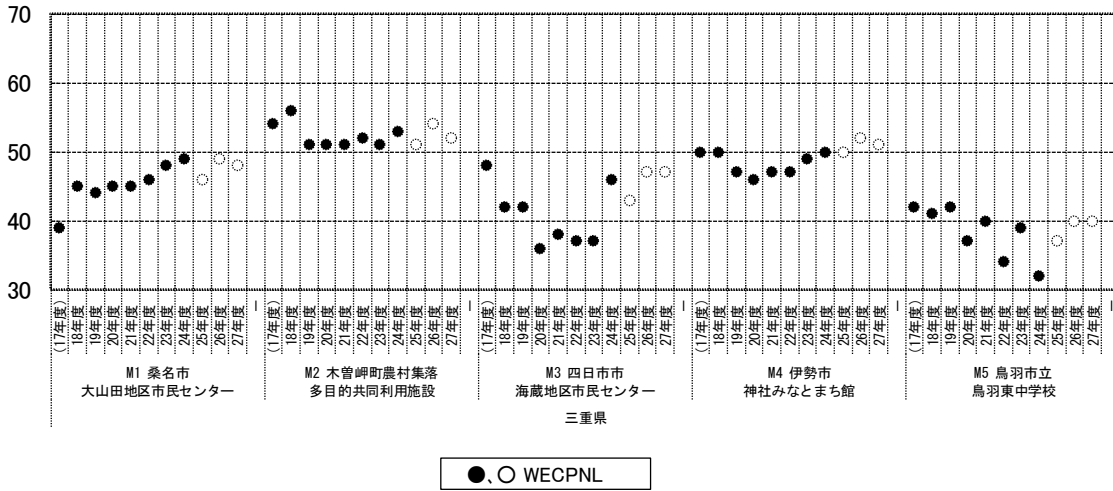
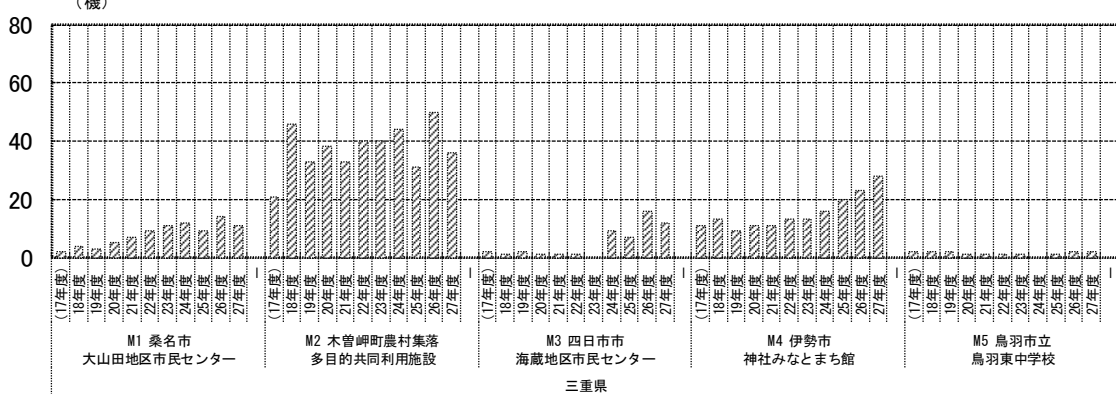


図 3-8(2) 年度別の WECPNL（定期監視 M1,M2,M3,M4,M5）

測定された機数（日平均）
（機）



注：平成 17 年度は下半期 1 回だけの測定値であり、参考として示した。

図 3-9(2) 年度別の測定機数（定期監視 M1,M2,M3,M4,M5）

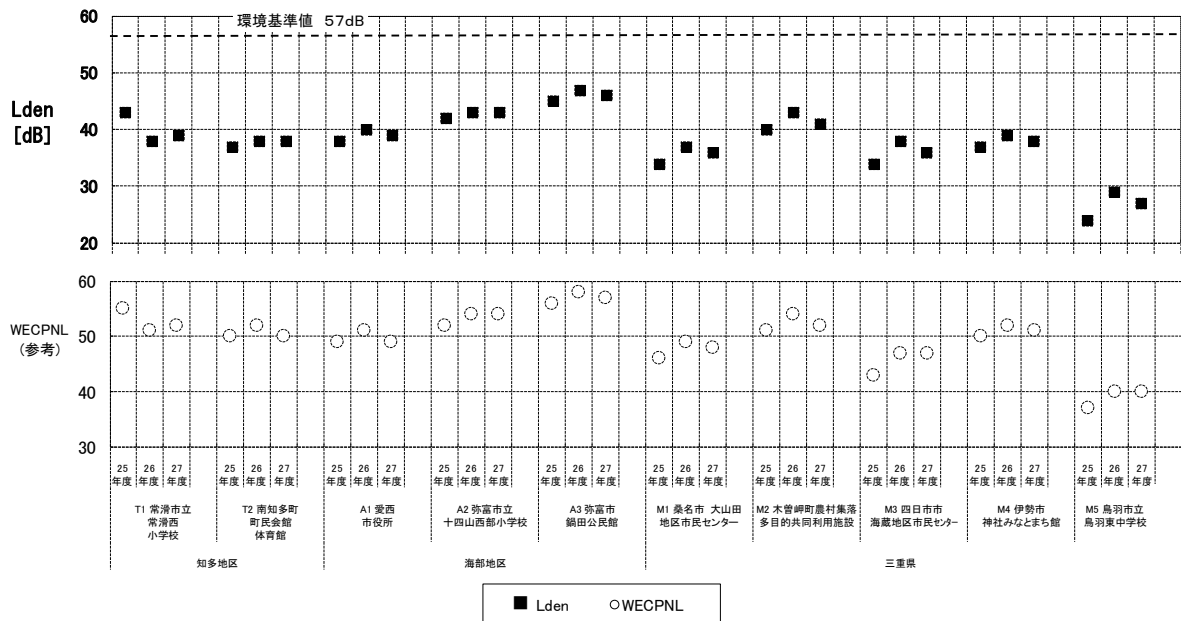


図 3-10 Lden と WECPNL (定期監視)

比較のできる平成 17 年度以降の年間の WECPNL(2 回の平均)は、毎年度同程度で推移している。

測定された機数の日平均は、伊勢市神社みなとまち館において、平成 19 年度以降漸増傾向にある。その他の調査地点では毎年度同程度で推移している。

(4) 航空機騒音の評価

平成 27 年度の常時監視 4 地点の年間の Lden は 43dB～46dB の範囲にあり、環境基準値(I 類型:Lden 57dB 以下)と比較した結果、全調査地点で環境基準を満たしていた。また年間の WECPNL は、昨年までと同程度であった。

平成 27 年度の定期監視 10 地点の年間の Lden は 27dB～46dB の範囲にあり、環境基準値(I 類型:Lden 57dB 以下)と比較した結果、全調査地点で環境基準を満たしていた。また年間の WECPNL は、昨年までと同程度であった。

以上より、平成 27 年度の常時監視及び定期監視結果は全調査地点で環境基準を満たしており、開港後の推移でも大きな変化はみられなかった。

参考資料 1

航空機騒音に係る相談件数

① 航空機騒音相談件数の状況

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
愛知県	79	490	448	409	245	297	206	233	263	280	265	250
岐阜県	0	1	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0
三重県	27	162	93	59	47	31	24	31	27	26	72	88
在住不明	0	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0
計	106	658	545	471	295	329	230	264	294	306	337	338
累積	106	764	1,309	1,780	2,075	2,404	2,634	2,898	3,192	3,498	3,835	4,173

② 平成27年度 相談内容別件数

区 分	主な相談内容等
飛行経路・高度へのお叱り 308件	<ul style="list-style-type: none"> ○いついつに飛んだ飛行機の高度・行き先を知りたい ○陸域を低空で飛ばさないでほしい(海域を飛ばすように。) ○我が家の上空を飛行するな。(低くて脅威だ。) ○飛行経路を知りたい。(飛び方・便数など詳しい内容を知りたい。) ○開港時に比べて飛行経路が守られていないのではないか。(最近、高度が低い)
航空機騒音に対するお叱り 30件	<ul style="list-style-type: none"> ○深夜・早朝の飛行機の音がうるさい。(特に深夜の騒音で、睡眠などで眠れない) ○飛行機の音がうるさい。(最近、また気になるようになった。) ○最近、飛行機の通過が増えて、飛行機の音がうるさい。 ○ヘリコプターの音がうるさい。 ○着陸機の到着時の騒音がうるさい。

参考資料 2

中部国際空港に係る環境監視計画

中部国際空港に係る

環 境 監 視 計 画

2013年4月改定

中部国際空港株式会社

目 次

第1章 環境監視についての基本的な考え方	1
1.1 環境監視の目的	1
1.2 環境監視計画の内容等	1
1.3 環境監視の実施	1
1.4 環境監視結果の評価	1
1.5 対策	1
1.6 環境監視結果の公開等	2
第2章 環境影響要因	4
2.1 環境影響要因	4
2.2 場所及び規模	4
2.3 航空機の運航	4
2.4 空港施設概要	4
第3章 環境監視計画	8
3.1 調査	8
3.2 環境監視情報処理システム	12

第1章 環境監視についての基本的な考え方

本計画は、2005年2月17日からの中部国際空港の供用に伴う周辺地域に対する環境影響を把握するため、事業者の責任において自主的に環境監視を実施する内容を定めたものである。

1. 1 環境監視の目的

- (1) 中部国際空港の供用に伴う環境に及ぼす影響を把握し、必要に応じて適切な措置を講じることにより環境の保全を図る。
- (2) 環境監視の結果を広く一般に公開し、事業に対する理解の促進に努める。

1. 2 環境監視計画の内容等

調査項目、調査地点、調査頻度などの環境監視計画の具体的な内容は、事業計画、環境影響評価書の内容及び環境監視結果を踏まえ設定する。

なお、環境監視計画については、必要に応じて見直しを行う。これに当たっては、専門分野の学識経験者及び関係自治体の意見を聴き、事業者が計画内容を定める。

1. 3 環境監視の実施

環境監視については、環境監視計画に基づいて適切に実施する。

環境監視に当たっては、日常的にデータの検討を行うとともに、迅速な環境保全の措置を講じることができる体制の整備を図る。

1. 4 環境監視結果の評価

環境監視結果については、専門分野の学識経験者の公正・中立な評価を受ける。

評価に当たっては、周辺地域に与える影響の程度を環境監視結果を基に行政機関等の一般環境データを参考として、環境基準や周辺地域の経年的な環境変化の傾向等と対比するなど、科学的・客観的に行う。

1. 5 対策

環境監視結果等から何らかの異常があると認められる場合については、関係機関と連携して原因を究明するとともに、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対応を行う。

1. 6 環境監視結果の公開等

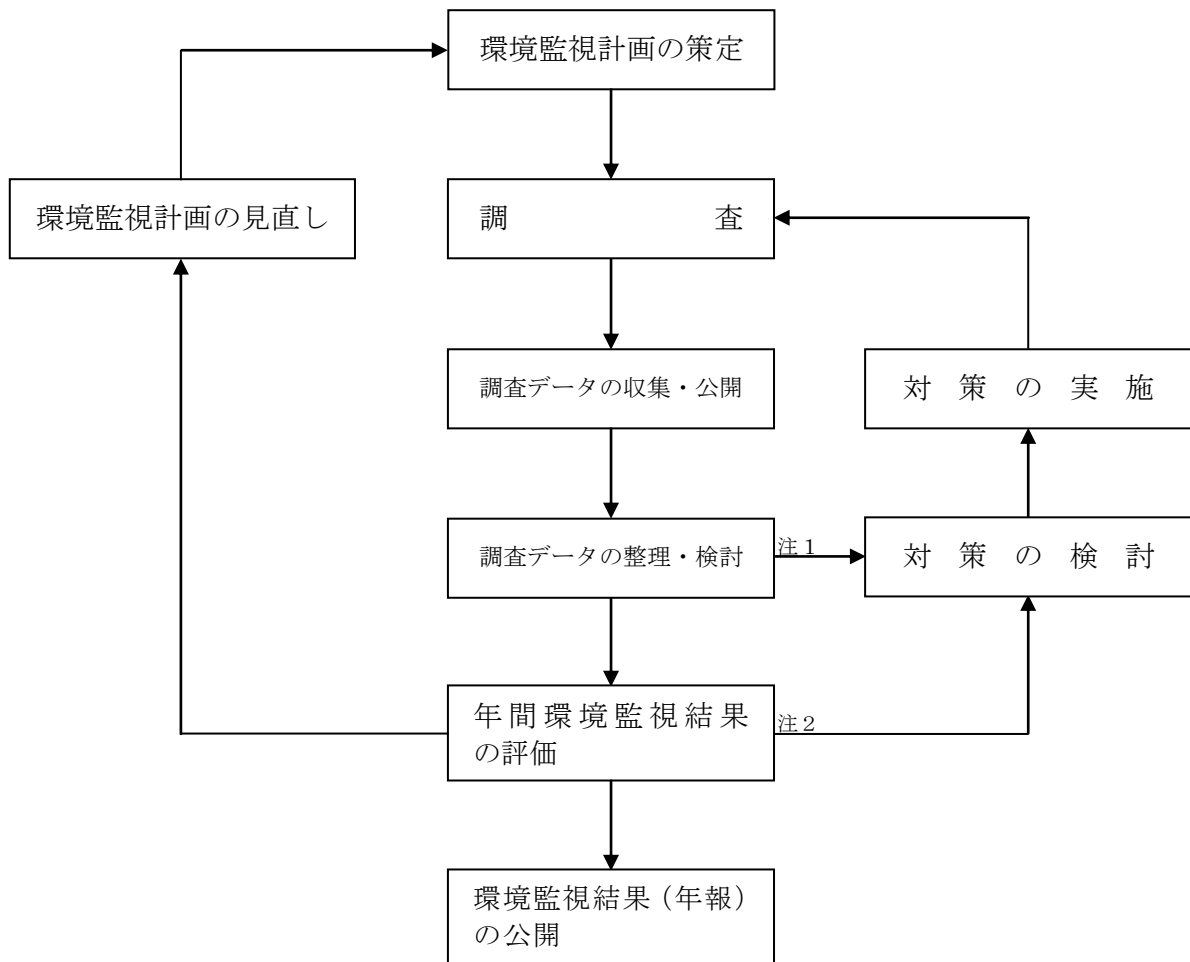
環境監視結果については、情報コーナーやインターネット等を用いて環境監視データの速報及び環境監視の評価結果を一般公開する。

環境監視結果の公開方法は、次のとおりとし、月報、年報については、岐阜・愛知・三重県、名古屋市、関係市町村等に報告する。

＜環境監視結果の公開方法＞

- ・ セントレア情報コーナーでのパソコン上でデータの公開
- ・ セントレア情報コーナー等での月報及び年報の公開
- ・ インターネットによるデータの公開

また、環境に関する理解や関心を深めていただくため、環境監視に係る調査項目や調査地点などをまとめたリーフレット等を作成する。



注1：日々の調査データを整理・検討した結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

注2：調査データについて、年間を通して評価された結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

図1 環境監視の概念図

第2章 環境影響要因

2.1 環境影響要因

空港の供用に係る環境影響要因として、中部国際空港の運用に伴う航空機の運航等がある。

2.2 場所及び規模

(1) 場所 (図2-1参照)

愛知県常滑市セントレアの一部 (空港用地)

(2) 規模

470ha

2.3 航空機の運航

(1) 飛行経路 (図2-2、2-3参照)

(2) 滑走路 1本、3500m

(3) 飛行機材 B737、B747、B767、B777、MD90、A320、A330等

(4) 離着陸回数 約10万回/年 (2008年度実績)

2.4 空港施設概要

離着陸施設 (滑走路、誘導路、航空保安施設等)

エプロン

航空旅客取扱施設 (国内・国際旅客ターミナルビル、機内食工場等)

航空貨物取扱施設 (国内・国際貨物取扱施設)

管理施設 (庁舎、管制塔、空港管理棟等)

供給処理施設 (航空機給油施設、エネルギー供給施設等)

その他施設 (道路等)

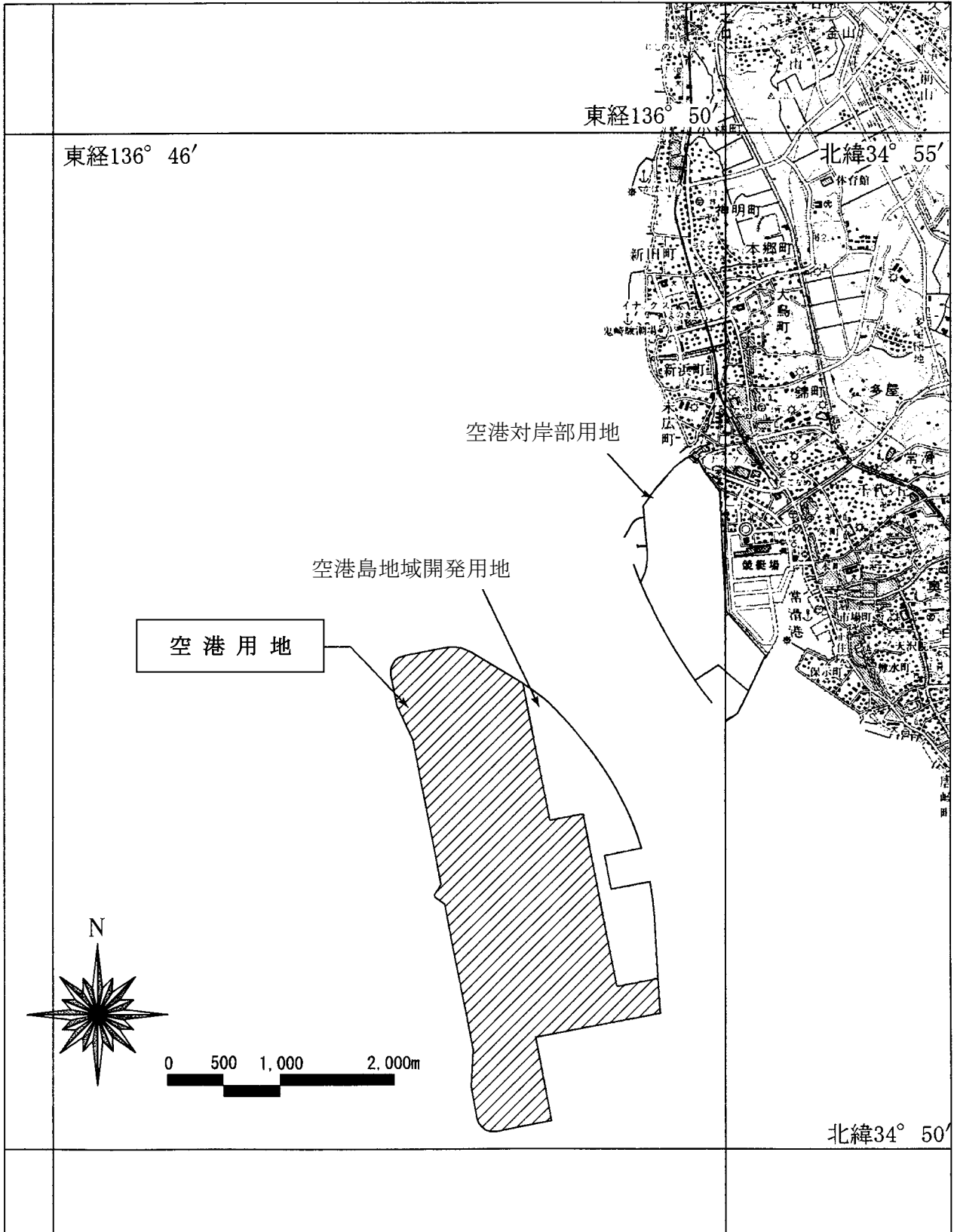
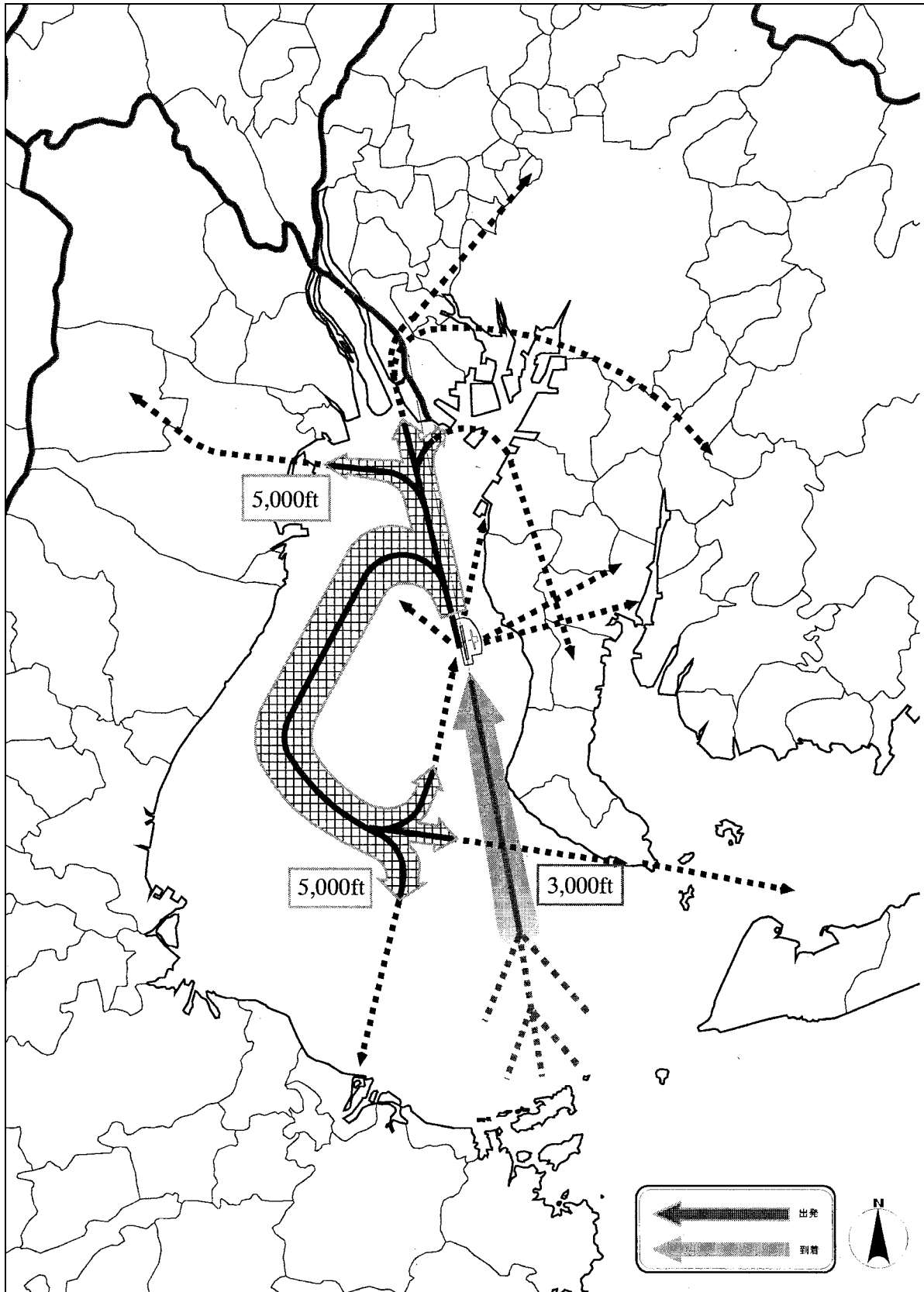
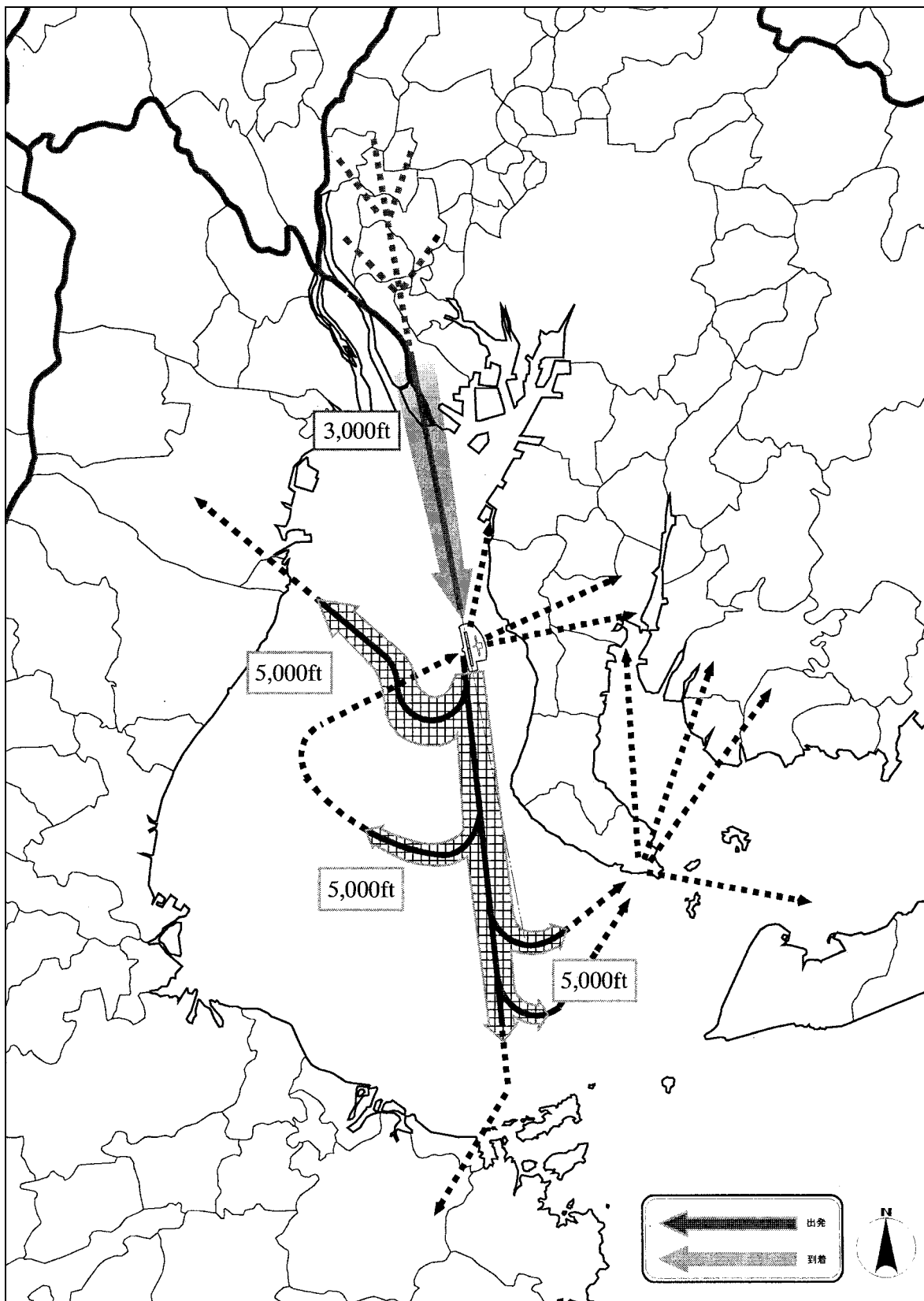


図 2 - 1 場所及び形状



* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図2-2 飛行経路（北向き運用：6～23時）



* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図2-3 飛行経路 (南向き運用: 6~23時)

第3章 環境監視計画

3.1 調査

(1) 調査の考え方

空港の供用が環境に及ぼす影響を適切に把握するため、以下の考え方に基づき調査を実施する。

なお、必要に応じて原因を究明するための調査や周辺環境の基礎情報を収集するための調査を実施する。

ア 調査項目

空港の供用に伴う環境影響、環境影響予測項目、環境監視結果を踏まえ、「騒音」を設定する。

イ 調査地点

地域の環境特性を考慮して、空港の供用による周辺環境への影響の程度が的確に把握できるよう配慮し設定する。

ウ 調査期間

周辺環境への影響の程度を考慮して設定する。

エ 調査頻度・時期

環境質の特性、空港の供用に伴う環境負荷の発生状況に応じ、環境の的確な把握が行えるように設定する。

オ 調査方法

各種法令やJIS等の規定に準拠する。

(2) 調査の内容

調査の内容は次のとおりである。

調 査 項 目		調査地点	調査頻度・時期	調査方法	
騒音	航空機騒音	常時監視	図3-1 (4地点)	常時	表3
		定期監視 注	図3-1 (10地点)	年2回 (夏期・冬期)	表3

注 定期監視については、今後の調査結果を踏まえ、見直しを行う。

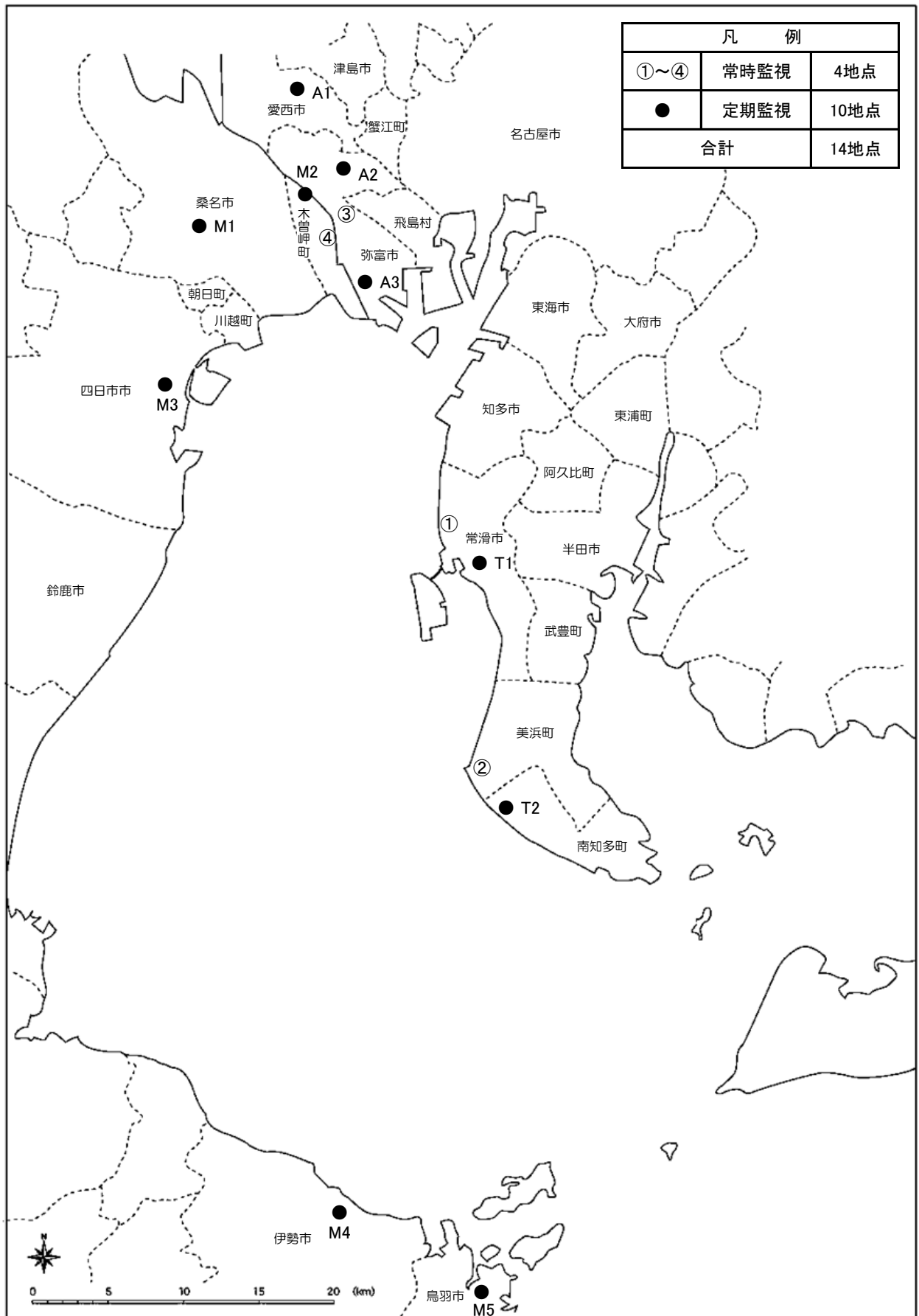


図 3 - 1 航空機騒音の調査地点

<航空機騒音調査地点一覧表>

1 常時監視地点

地 点	場 所
①	常滑市立鬼崎中学校
②	美浜町野間(ちびっこ広場)
③	弥富市立大藤小学校
④	木曾岬町東部公民館

2 定期監視地点

(1) 愛知県知多地区

地 点	場 所
T1	常滑市立常滑西小学校
T2	南知多町町民会館体育館

(2) 愛知県海部地区

地 点	場 所
A1	愛西市役所
A2	弥富市立十四山西部小学校
A3	弥富市鍋田公民館

(3) 三重県

地 点	場 所
M1	桑名市大山田地区市民センター
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設
M3	四日市市海蔵地区市民センター
M4	伊勢市神社みなとまち館
M5	鳥羽市立鳥羽東中学校

表3 航空機騒音

項 目	調 査 方 法
航空機騒音	「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和48年環境庁告示第154号、改正 平成19年環境省告示第114号)及び「航空機騒音測定・評価マニュアル」(平成24年11月環境省)に定める方法

3. 2 環境監視情報処理システム

各種調査データの収集・処理を迅速かつ効率的に取り扱うため、テレメータシステム及びコンピュータを用いたデータ処理システムによってデータの収集・処理、管理を行う。

環境監視情報処理システム機能概要図は、図3-2のとおりである。

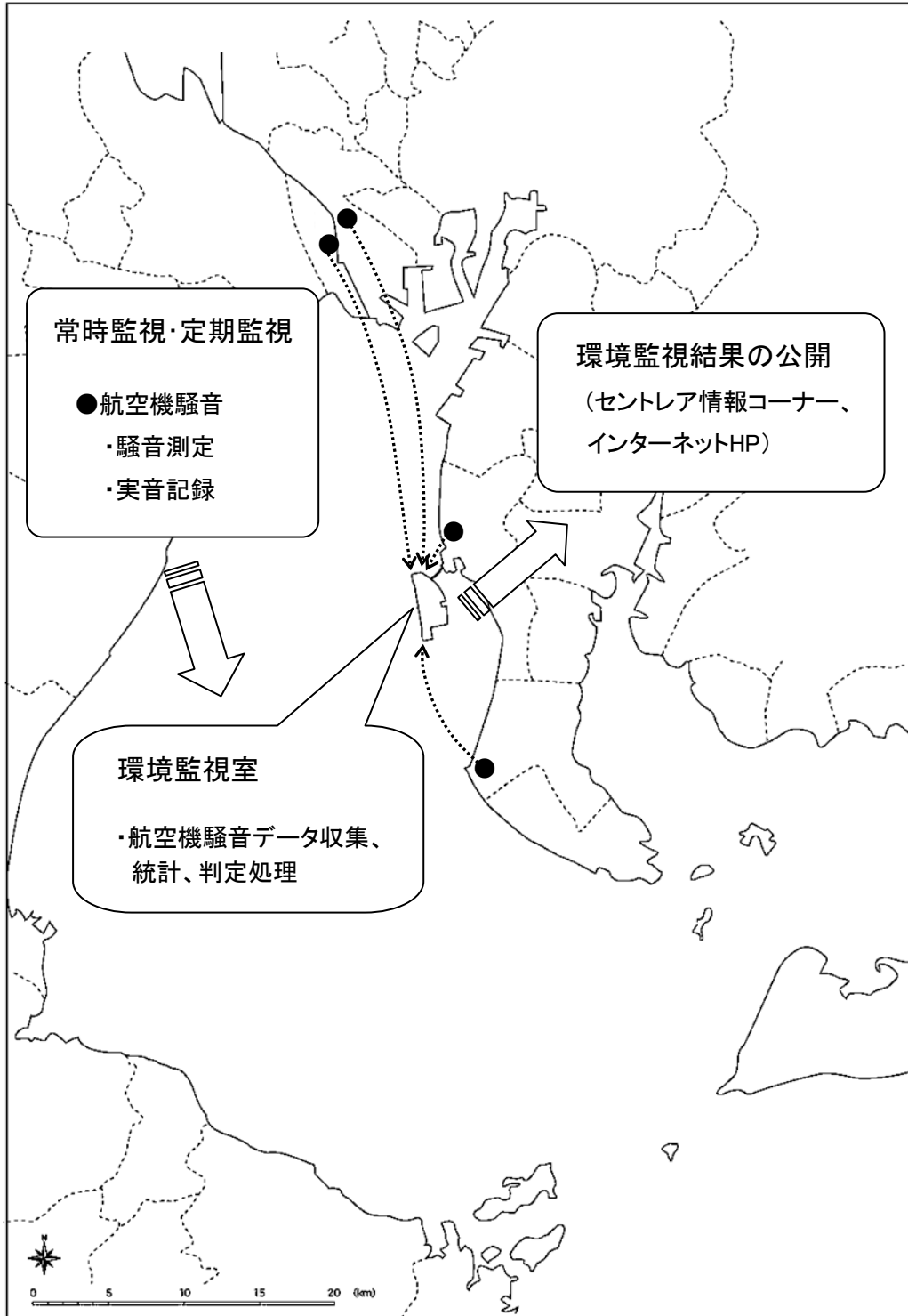


図3-2 環境監視情報処理システム機能概要図